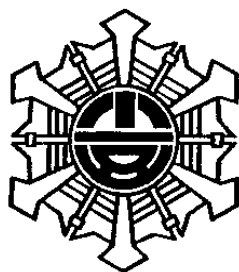


消 防 年 報

平成 2 7 年度版



小 豆 地 区 消 防 本 部
(平成 2 8 年刊行)

は し が き

1. この年報は、平成27年中における小豆地区消防本部の業務に関する諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将来の消防防災活動の資料とするため作成しました。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、火災・救急統計は歴年、その他については当該表右上部に収録期日を表しています。

平成28年9月

小豆地区消防本部

目 次

総 務

1.	位置及び自然的条件	1
2.	管内図と消防本部・署の位置	2
3.	小豆郡内常備消防の沿革	3
4.	消防の沿革（組合）	4～14
5.	主たる総務行事	15
6.	歴代消防長	16
7.	歴代消防署長	17
8.	消防の組織・機構	18
9.	事務分掌	19～20
10.	管内面積及び人口・世帯数	20
11.	消防庁舎の現状	21
12.	職員の勤務年数	21
13.	職員の年齢	22
14.	職員の配置状況	22
15.	消防力の現勢	23
16.	消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合	23
17.	消防予算	24
18.	平成28年度町別一般会計予算と消防予算	24
19.	消防費基準財政需要額及び町負担金	24
20.	職員特殊技能資格取得状況	25
21.	職員教養状況調	26
22.	職員居住地調	26
23.	職員任用退職状況調	27
24.	職員の推移	28

予 防

1.	主たる予防行事	29
2.	防火優良認定交付対象物状況	29
3.	自主防災組織の現況	29～30
4.	防火対象物現況	31
5.	防火管理者選任届状況	32
6.	建築同意事務処理状況	33～34
7.	危険物施設の現況	35
8.	危険物施設の許認可状況	35
9.	各種届出事務処理状況	36
10.	広報・広聴実施状況	36
11.	中高層建築物（4階以上）の現況	37

消 防 防 災

1. 主たる警防行事	3 8
2. 消防車両等配置状況	3 9
3. 主な機械器具の配置状況	4 0～4 1
4. 消火薬剤の備蓄状況	4 1
5. 消防水利の現況	4 2
6. 防災関係届出事務処理状況	4 2
7. 災害別出動状況	4 2
8. 救急法指導状況	4 3

情 報 指 令

1. 消防通信系統図	4 4
2. 通信施設状況	4 5～4 7
3. 119番受信状況	4 8
4. 気象状況（観測地 消防本部）	4 8
5. 気象情報受理状況	4 9

火 災 統 計

1. 火災発生状況	5 0
2. 時間別火災状況	5 1
3. 月・曜日別火災状況	5 1
4. 月別火災状況	5 2
5. 覚知別火災状況	5 2
6. 原因別火災状況	5 2
7. 建物火災用途別火災状況	5 3
8. 過去10ヶ年の火災状況	5 3

救 急 統 計

1. 事故別救急出動状況	5 4
2. 覚知別救急出動状況	5 4
3. 医療機関等収容可能状況照会回数	5 4
4. 時間別救急出動状況	5 5
5. 曜日別救急出動件数	5 5
6. 救急隊員の行った応急処置件数	5 5
7. 現場到着所要時間別出動状況	5 6
8. 収容所要時間別搬送人員	5 6
9. 年齢区分別搬送人員	5 6

10. 発生場所別搬送人員	57
11. 管轄外転院搬送件数	57
12. 傷病程度別搬送人員	57
13. 小豆2町、年別救急出動状況	58
14. 過去10ヶ年の主な救急出動状況	58

消 防 団

1. 2町消防団現勢分布図	59
2. 消防団の組織・機構	60
3. 消防団員の勤務年数及び年齢	61
4. 消防団員数及び装備状況	61～62
5. 町別消防車両等種別現況	62～63
6. 消防団員報酬調	63
7. 消防団員諸手当調	63

総務



総 務

1. 位置及び自然的条件

小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の2町で構成されている。

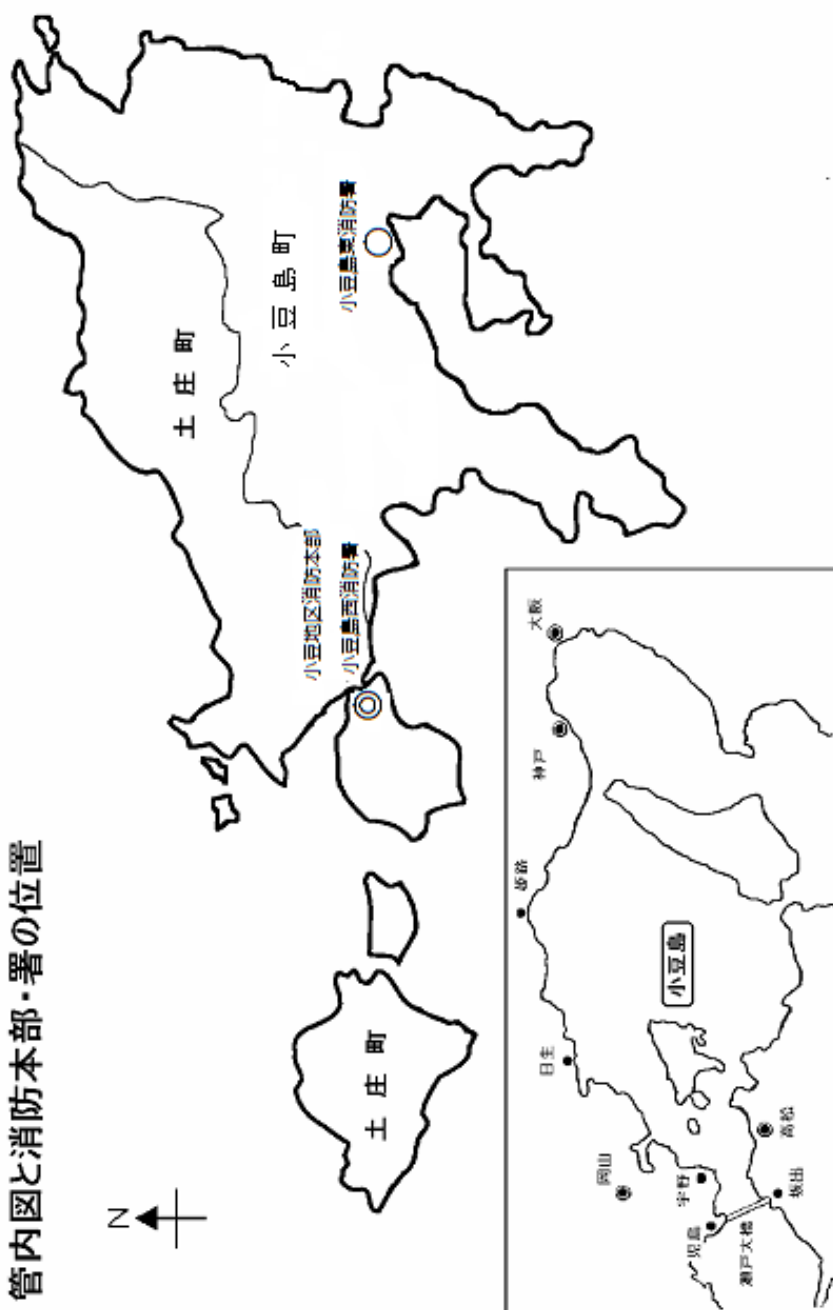
地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰817mの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、小豆島は、瀬戸内海国立公園「寒霞溪」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

気候は、四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造及び電照菊の栽培が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。



2. 管内図と消防本部・署の位置



3. 小豆郡内常備消防の沿革

内 海 町

昭和 37 年 4 月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員 3 名採用する。
6 月	常勤消防団員 1 名内海町へ。
10 月	常勤消防団員 2 名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員 2 名、非常勤消防団員 3 名にて当直を実施し初動態勢の強化を図った。(昭和 38 年 3 月まで実施)
昭和 38 年 4 月	常勤消防団員 3 名採用、常勤消防団員 7 名となる。
7 月	消防庁舎を安田甲 1 4 4 の 9 0 (町役場敷地内) に新築する。
10 月	常勤消防団員 1 名増員 (内海町より) 常勤消防団員 8 名となる。
昭和 41 年 8 月	常勤消防団員 1 名退職し、1 名採用する。
昭和 45 年 3 月	常勤消防団員 1 名退職、常勤消防団員 7 名となる。
4 月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員 3 名採用、職員 1 0 名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、その任にあたる。

土 庄 町

昭和 38 年 4 月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に土庄町消防本部を新設、職員 4 名にてその任にあたる。夜間当直 1 名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊 (役場職員 1 2 名) を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年 4 月	消防本部を土庄町甲 6 1 2 (土庄分団屯所内) へ移転する。 職員 3 名を採用し、専任職員 7 名となる。
昭和 41 年 4 月	職員 1 名土庄町へ、職員 1 名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年 6 月	職員 3 名を採用し、専任職員 1 0 名となる。
11 月	専任職員 2 名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 (本年より毎年火災多発期の 1 1 月～3 月実施) 夜間当直 2 名。
昭和 43 年 4 月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
6 月	職員 3 名増員 (土庄町より) 専任職員 1 3 名となる。 消防本部・署を土庄町甲 5 6 1 (旧土庄中学校) へ移転する。
昭和 44 年 4 月	職員 4 名採用し専任職員 1 7 名となる。
10 月	消防署の編成を 1 車隊 6 名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年 2 月	消防本部・署を土庄町湊崎甲 2 0 4 4 (旧土地改良事務所) へ移転する。
4 月	女子職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 8 名となる。
昭和 46 年 7 月	職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 9 名となる。
昭和 47 年 3 月	職員 2 名土庄町へ、職員 1 7 名となる。

消防組合設立への機運

昭和45年1月12日池田町内の2カ所から同時に出火した林野火災は延々3日間にわたり燃え続け、1月14日 延べ524haを焼失し鎮火となった。全国史上9番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

4. 消防の沿革（組合）

昭和 46 年 7 月	小豆3町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー（3町町長、3町議長、3町総務課長、3町消防団長、土庄町消防本部消防長）
9 月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10 月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11 月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12 月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和 47 年 3 月	小豆3町広域消防促進協議会を解散する。
4 月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 初代管理者に内海町長川北四十二氏が就任。 初代消防長及び消防署長に清水勝氏が任命される。 消防職員16名採用、内海町より1名、池田町より1名、職員総数45名となる。
5 月	消防職員1名、事務職員（女）1名採用、職員総数47名となる。
6 月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員1名内海町へ、職員総数46名となる。
7 月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員1名配置し、11名となる。
9 月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10 月	救急車（トヨタハイエース2B型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員6名を増員、消防署員数21名となる。
12 月	消防ポンプ車（ニッサンFH60型）2台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和 48 年 1 月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲557-4）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田2099-4）業務を開始する。 分署署員数 2名 消防ポンプ車 1台
3 月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局4基、携帯局4基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタFJ55V）の寄贈を受

	け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。(旧ポンプ車は池田分署へ配置する。) 消防職員1名退職、職員総数45名となる。
4月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員17名を採用、職員総数62名となる。池田分署へ3名増員し、分署署員5名となり、夜間は通信員1名常駐する。 内海分署庁舎落成し(内海町安田甲144-90)移転する。
5月	消防職員1名土庄町へ、職員総数61名となる。
7月	消防職員1名退職し、職員総数60名となる。
8月	内海分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。 消防職員1名退職し、職員総数59名となる。
9月	無線移動局3基、携帯局5基を増設し、消防署と各分署へ配置する。
11月	消防署へ消防救急指令装置(NEC、FD201型)を設置し、運用を開始する。
昭和49年1月	池田分署へ6名増員し、分署署員数11名となり隔日勤務体制をとる。
3月	消防職員2名土庄町へ、1名内海町へ転出し、職員総数56名となる。
4月	第二代消防署長に役重正則氏が昇任される。消防職員6名採用、職員総数62名となる。 内海分署へ救急車(トヨタハイエース2B型)を配置するとともに6名を増員しポンプ車隊、救急車隊の2隊編成をとり分署署員数19名となる。池田分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。
5月	内海分署において、救急業務を開始する。
7月	消防本部へ査察広報車(トヨタカローラバン)を配置する。旧車は池田分署へ配置する。 7月6日、台風8号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橋地区を中心に死者29名、重軽傷者42名、家屋全半壊128戸を出す大惨事となる。 大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。
8月	内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車(ニッサンFH60型)を購入配置する。
昭和50年3月	初代消防長清水勝氏及び職員1名退職し、職員総数60名となる。 無線移動局1基、携帯局5基を増設する。
4月	消防職員2名採用、職員総数62名となる。
6月	第二代消防長に内海町役場課長であった坂本傳氏が任命され、職員総数63名となる。
7月	池田分署へ消防ポンプ車(ニッサンFH60型)を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
9月	無線移動局2基、携帯局1基を増設する。小豆島防火協会が設立される。
11月	消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の3課制をとる。
昭和51年3月	消防職員2名退職し、職員総数61名となる。
4月	消防職員3名採用、職員総数64名となる。

9月	<p>防災工作車（トヨタハイエースWキャブ）を2台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。</p> <p>台風17号により、9月8日から9月13日までに小豆島全域にわたり、わずか6日間で年間降雨量を超える1,400ミリ（11日～12日で800ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして39名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。</p> <p>史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎよ、資材の運搬等にあたる。しかし、9月12日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の捜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々12日間連続出動する。</p> <p>延出動職員数 739名 延出動車両台数 75台</p> <p>被害の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>死者</td> <td>39名</td> <td>重軽傷者</td> <td>81名</td> <td>被災世帯</td> <td>2,665世帯</td> </tr> <tr> <td>全壊家屋</td> <td>209戸</td> <td>半壊家屋</td> <td>268戸</td> <td>床上浸水</td> <td>2,149戸</td> </tr> <tr> <td>床下浸水</td> <td>2,942戸</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	死者	39名	重軽傷者	81名	被災世帯	2,665世帯	全壊家屋	209戸	半壊家屋	268戸	床上浸水	2,149戸	床下浸水	2,942戸				
死者	39名	重軽傷者	81名	被災世帯	2,665世帯														
全壊家屋	209戸	半壊家屋	268戸	床上浸水	2,149戸														
床下浸水	2,942戸																		
11月	消防職員1名退職、職員総数63名となる。無線移動局1基、携帯局3基を増設する。																		
昭和52年1月	臨時事務職員1名採用。																		
3月	無線携帯局3基を増設する。																		
4月	消防職員1名池田町へ、職員総数62名となる。																		
6月	第二代消防長坂本傳氏内海町へ。消防長事務取扱に内海町長川北四十二氏が任命され、職員総数61名となる。																		
昭和53年3月	初代管理者、内海町長川北四十二氏退任。																		
4月	第二代管理者に土庄町長山脇利一氏が就任、次長として土庄町役場主幹であった洲本勝氏が任命される。消防職員4名採用、職員総数66名となる。																		
5月	土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。																		
7月	異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、54年2月中旬から全面給水となった。																		
8月	異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。（10月中旬まで実施する。）内海分署へ2名増員し、分署署員数21名となる。																		
9月	日本消防協会より、救急車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、本署へ配置する。																		
昭和54年3月	内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。																		
7月	小型動力ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、内海分署へ配置する。																		
10月	油火災用ユニット式ポンププロポーショナー1式を2基購入し、本署と内海分署へ配置する。																		
11月	小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。																		

12月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和 55 年 3月	消防職員 1 名、臨時事務職員 1 名退職し、職員総数 6 5 名となる。
4月	第四代消防長に消防次長であった洲本勝氏が昇任。消防職員 3 名採用、職員総数 6 8 名となる。
6月	小型動力ポンプ（ラビット可搬式）2 台を購入し、本署と池田分署へ配置。
8月	消防他 3 つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。組合管理者には、内海町長川北四十二氏が就任。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員 1 名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数 6 7 名となる。
10月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー 1 式を購入し池田分署へ配置。
11月	油火災用特殊防火衣を 2 着購入し、本署へ配置する。
	日本自動車工業会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急 2 号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和 56 年 4月	第二代消防署長、役重正則氏退職。消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
5月	第三代消防署長に副署長であった谷元哲彦氏昇任。
9月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、本署へ配置する。
昭和 57 年 3月	消防ポンプ車（いすゞ CD-I）1 台を購入し、本署へ配置する。
	旧消防ポンプ 1 号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。
	日本損害保険協会より、救急車（日産キャラバン B-2）の寄贈を受け本署へ配置する。救急 3 号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
4月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
5月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、内海分署へ配置する。
6月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置する。
10月	消防職員 1 名小豆島老人ホームへ、職員総数 6 8 名となる。
昭和 58 年 3月	第二代管理者、土庄町長山協利一氏退任。
4月	第三代管理者に池田町長佐々木武雄氏就任。
8月	日本消防協会より、救助資器材搬送車（日産アトラス）の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和 59 年 3月	第四代消防長、洲本勝氏土庄町へ。
	消防署に設置の救急指令装置（D-201E）更新する。
	消防職員一名退職、職員総数 6 6 名となる。
4月	第三代管理者、池田町長佐々木武雄氏退任。第四代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。第五代消防長に、消防次長であった谷元哲彦氏が昇任、消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
8月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、池田分署へ配置する。
11月	第 8 回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車（日産キャラバン）の寄贈を受ける。

昭和 60 年 3 月	第四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。				
4 月	第五代管理者に内海町長川西寿一氏就任。				
7 月	小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。				
9 月	日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリ A-I）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。				
昭和 61 年 3 月	内海分署無線基地局老朽のため更新する。				
	第五代消防長兼消防署長であった谷元哲彦氏退職。職員総数 66 名となる。				
4 月	第六代消防長事務取扱に池田町長八木壮一郎氏が任命され、次長として池田町役場主幹であった大谷隆生氏が任命される。第四代消防署長に副署長であった中黒輝雄氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 68 名となる。				
8 月	8 月 28 日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、9 月 4 日 17 時 128 ha を焼失し、鎮火する。				
	被害状況	焼損面積	128 ha	損害額	7,550 万円
		死者	1 名	負傷者	7 名
	出動人員（延）			出動車両等（延）	
	小豆地区消防本部	275 名		消防ポンプ自動車	77 台
	土庄町消防団	1,772 名		小型動力ポンプ付積載車	72 台
	池田町消防団（応援）	228 名		その他の車両	61 台
	内海町消防団（応援）	294 名		偵察用ヘリコプター	3 機
	高松市消防局（応援）	213 名		空中消火用ヘリコプター	8 機
	神戸市消防局（応援）	5 名			
	陸上自衛隊（応援）	112 名			
	合計	2,899 名			
10 月	異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（62 年 2 月まで）				
12 月	香川県消防相互応援協定締結 （香川県下 5 市、38 町、6 消防組合）				
昭和 62 年 2 月	消防ポンプ自動車（三菱 CD-I）を購入し、池田分署へ配置する。				
3 月	第五代管理者、内海町長川西寿一氏退任。				
4 月	第六代管理者に土庄町長山脇利一氏就任。				
5 月	消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。				
6 月	査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。				
昭和 63 年 3 月	第六代消防長事務取扱者、池田町長八木壮一郎氏退任。				
4 月	第七代消防長に消防次長であった大谷隆生氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。				

8月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。
11月	消防本部へ管轄区域内の119番を統合し、運用を開始する。
12月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、本署へ配置する。
平成元年3月	第六代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。消防職員の高齢化対策として2名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	第七代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。消防職員3名採用、職員総数70名となる。
5月	消防職員1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数69名となる。
9月	防災工作車を2台購入、内海分署（トヨタトヨエースWキャブ）、池田分署（トヨタダイナWキャブ）へそれぞれ配置する。
10月	消防職員1名退職、職員総数68名となる。
平成2年2月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。
3月	消防本部の庁舎に非常電源装置を設置する。 消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	消防職員2名採用、1名退職し、職員総数68名となる。
6月	救助用機材（リフトバック）1式を購入し、本署へ配置する。
12月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。
平成3年2月	本署の林野工作車（49年式日産FH60型）を廃車にする。
3月	第七代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	第八代管理者に内海町長川西寿一氏就任。消防職員3名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。
8月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、内海分署へ配置する。
平成4年3月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、本署へ配置し、1号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。
4月	消防職員2名採用、職員総数70名となる。
平成5年3月	第八代管理者、内海町長川西寿一氏退任。第七代消防長、大谷隆生氏池田町へ。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。
4月	第九代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。第八代消防長に消防署長であった中黒輝雄氏が昇任。第五代消防署長に総務課長であった前田忠氏が昇任。 消防職員2名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。
10月	日本消防協会より救急車（いすゞファーゴ2B型）の寄贈を受け、内海分署へ

	配置する。																																																		
12月	小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。																																																		
平成6年1月	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県） 香川県防災航空隊へ職員1名派遣。																																																		
4月	消防職員2名採用、職員総数71名となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結 （香川県、県下5市、38町、6消防組合）																																																		
5月	エアークンプレッサーを購入し、本署へ配置する。																																																		
11月	はしご付消防自動車（森田式MLEH5-35R型）を購入し本署へ配置する。																																																		
平成7年3月	第九代管理者、土庄町長塩本淳平氏退任。																																																		
4月	第十代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。																																																		
6月	第八代消防長、中黒輝雄氏逝去。職員総数70名となる。																																																		
7月	第九代消防長兼署長に次長兼署長であった前田忠氏が昇任。																																																		
平成8年3月	基地局に県内共通波を設置する。																																																		
4月	第九代消防長兼署長であった前田忠氏の署長兼務を解く。第六代消防署長に内海分署長であった木村敏夫氏が昇任。消防職員2名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、2名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数71名となる。 4月9日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常渇水のため、16時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町湊崎妹尾乙257番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め4月12日9時、47haを焼失し、鎮火する。																																																		
	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">出動人員（延）</td> <td style="text-align: center;">出動車両等（延）</td> </tr> <tr> <td>小豆地区消防本部</td> <td>196名</td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>49台</td> </tr> <tr> <td>土庄町消防団</td> <td>1,172名</td> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>109台</td> </tr> <tr> <td>池田町消防団</td> <td>300名</td> <td>自衛隊車両</td> <td>33台</td> </tr> <tr> <td>内海町消防団</td> <td>350名</td> <td>その他の車両</td> <td>73台</td> </tr> <tr> <td>高松市消防局</td> <td>9名</td> <td>消防防災ヘリ</td> <td>7機</td> </tr> <tr> <td>香川県防災航空隊</td> <td>21名</td> <td>自衛隊ヘリ</td> <td>9機</td> </tr> <tr> <td>大阪市消防局航空隊</td> <td>5名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島市消防航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>島根県防災航空隊</td> <td>16名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>京都市消防航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊</td> <td>161名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,242名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	出動人員（延）	出動車両等（延）	小豆地区消防本部	196名	消防ポンプ自動車	49台	土庄町消防団	1,172名	小型動力ポンプ付積載車	109台	池田町消防団	300名	自衛隊車両	33台	内海町消防団	350名	その他の車両	73台	高松市消防局	9名	消防防災ヘリ	7機	香川県防災航空隊	21名	自衛隊ヘリ	9機	大阪市消防局航空隊	5名			広島市消防航空隊	6名			島根県防災航空隊	16名			京都市消防航空隊	6名			陸上自衛隊	161名			合計	2,242名		
出動人員（延）	出動車両等（延）																																																		
小豆地区消防本部	196名	消防ポンプ自動車	49台																																																
土庄町消防団	1,172名	小型動力ポンプ付積載車	109台																																																
池田町消防団	300名	自衛隊車両	33台																																																
内海町消防団	350名	その他の車両	73台																																																
高松市消防局	9名	消防防災ヘリ	7機																																																
香川県防災航空隊	21名	自衛隊ヘリ	9機																																																
大阪市消防局航空隊	5名																																																		
広島市消防航空隊	6名																																																		
島根県防災航空隊	16名																																																		
京都市消防航空隊	6名																																																		
陸上自衛隊	161名																																																		
合計	2,242名																																																		
平成9年3月	第十代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 日本消防協会から救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																																																		

4月	第十一代管理者に内海町長川西寿一氏就任。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																																																										
5月	第十一代管理者、内海町長川西寿一氏退任。 第十二代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。																																																										
10月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。																																																										
平成10年10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。																																																										
平成11年2月	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部） 携帯電話119番転送システムを設置する。 2月14日、土庄町湊崎字東丸山甲1665番地3より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し3日間燃え続け、消防職員・3町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、13haを焼失し、16日8時40分鎮火する。																																																										
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">出動人員（延）</td> <td style="text-align: center;">出動車両（延）</td> </tr> <tr> <td>小豆地区消防本部</td> <td>145名</td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>35台</td> </tr> <tr> <td>土庄町消防団</td> <td>717名</td> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>87台</td> </tr> <tr> <td>池田町消防団</td> <td>110名</td> <td>自衛隊車両</td> <td>6台</td> </tr> <tr> <td>内海町消防団</td> <td>100名</td> <td>その他の車両</td> <td>25台</td> </tr> <tr> <td>香川県防災航空隊</td> <td>9名</td> <td>消防防災ヘリ</td> <td>8機</td> </tr> <tr> <td>高知県消防防災航空隊</td> <td>16名</td> <td>自衛隊ヘリ</td> <td>8機</td> </tr> <tr> <td>愛媛県消防防災航空隊</td> <td>13名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫県消防防災航空隊</td> <td>14名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島県防災航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥取県消防防災航空隊</td> <td>7名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊</td> <td>121名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土庄警察署</td> <td>55名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土庄町職員</td> <td>24名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,337名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	出動人員（延）	出動車両（延）	小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台	土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台	池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台	内海町消防団	100名	その他の車両	25台	香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機	高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機	愛媛県消防防災航空隊	13名			兵庫県消防防災航空隊	14名			広島県防災航空隊	6名			鳥取県消防防災航空隊	7名			陸上自衛隊	121名			土庄警察署	55名			土庄町職員	24名			合計	1,337名		
出動人員（延）	出動車両（延）																																																										
小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台																																																								
土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台																																																								
池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台																																																								
内海町消防団	100名	その他の車両	25台																																																								
香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機																																																								
高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機																																																								
愛媛県消防防災航空隊	13名																																																										
兵庫県消防防災航空隊	14名																																																										
広島県防災航空隊	6名																																																										
鳥取県消防防災航空隊	7名																																																										
陸上自衛隊	121名																																																										
土庄警察署	55名																																																										
土庄町職員	24名																																																										
合計	1,337名																																																										
3月	第十二代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。																																																										
4月	第十三代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																																																										
平成12年3月	消防本部2階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。																																																										
10月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。																																																										
平成13年3月	第十三代管理者、塩本淳平氏退任。 消防職員1名退職。職員総数70名となる。																																																										
平成13年4月	第十四代管理者に八木壮一郎氏就任。 消防職員1名採用。職員総数71名となる。																																																										
平成14年1月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。																																																										

3月	第六代消防署長、木村敏夫氏退職。職員総数69名となる。																				
4月	第七代消防署長に内海分署長であった森三郎氏が昇任。 消防職員2名採用、職員総数71名となる。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																				
平成15年3月	第十四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 第九代消防長、前田忠氏退職。職員総数70名となる。 日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																				
4月	第十五代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。 第十代消防長事務取扱に土庄町長三木佑二郎氏任命。 消防職員3名採用、職員総数73名となる。																				
10月	消防次長、高橋忠博氏逝去。職員総数72名となる。																				
12月	消防署長であった森三郎氏が消防次長に昇任。 第八代消防署長に内海分署長であった佐渡達夫氏が昇任。																				
平成16年3月	消防次長、森三郎氏退職。職員総数71名となる。 救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。																				
4月	消防署長であった佐渡達夫氏が消防次長に昇任。 第九代消防署長に浜岡成俊氏が昇任。																				
8月	台風16号による高潮被害。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>内海町</td> <td>床上浸水</td> <td>176戸</td> <td>床下浸水</td> <td>350戸</td> </tr> <tr> <td>土庄町</td> <td>床上浸水</td> <td>523戸</td> <td>床下浸水</td> <td>523戸</td> </tr> <tr> <td>池田町</td> <td>床上浸水</td> <td>49戸</td> <td>床下浸水</td> <td>160戸</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>床上浸水</td> <td>748戸</td> <td>床下浸水</td> <td>1,033戸</td> </tr> </table>	内海町	床上浸水	176戸	床下浸水	350戸	土庄町	床上浸水	523戸	床下浸水	523戸	池田町	床上浸水	49戸	床下浸水	160戸	合計	床上浸水	748戸	床下浸水	1,033戸
内海町	床上浸水	176戸	床下浸水	350戸																	
土庄町	床上浸水	523戸	床下浸水	523戸																	
池田町	床上浸水	49戸	床下浸水	160戸																	
合計	床上浸水	748戸	床下浸水	1,033戸																	
平成17年3月	第十五代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。 第十代消防長事務取扱、土庄町長三木佑二郎氏退任。 消防職員1名退職、職員総数70名となる。 消防ポンプ自動車（日野CD-I）を購入し、内海分署へ配置する。																				
4月	第十六代管理者に土庄町長三木佑二郎氏就任。 第十一代消防長に消防次長であった佐渡達夫氏が昇任。 第十代消防署長に総務課長であった中川博行氏が昇任。 消防職員1名採用、職員総数71名となる。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																				
平成18年1月	第十六代管理者、土庄町長三木佑二郎氏退任。第十七代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。																				
3月	内海町、池田町（2町）が合併し、小豆島町となる。 消防職員5名退職（勸奨）職員総数66名となる。 消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、池田分署へ配置する。																				
4月	消防職員5名採用、職員総数71名となる。																				
8月	消防職員1名退職、職員総数70名となる。																				

平成 19 年 3 月	第十七代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 消防職員 1 名退職（勸奨）職員総数 6 9 名となる。
4 月	第十八代管理者に小豆島町長坂下一朗氏就任。 消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防長、佐渡達夫氏・消防署長、中川博行氏他消防職員 3 名退職（内 3 名勸奨） 職員総数 6 6 名となる。
4 月	第十二代消防長に消防次長であった浜岡成俊氏が昇任。 消防次長に総務課長であった岡田正志氏が昇任。 第十一代消防署長に内海分署長であった森川誠三氏が昇任。 消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 21 年 3 月	第十八代管理者、小豆島町長坂下一朗氏退任。 消防長、浜岡成俊氏・消防次長、岡田正志氏・消防署長、森川誠三氏 他消防 職員 4 名退職（内 4 名勸奨） 職員総数 6 2 名となる。
4 月	第十九代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。 第十三代消防長事務取扱に小豆島町長坂下一朗氏任命。 消防次長に通信指令室長であった今口眞悟氏昇任。 第十二代消防署長に総務課長であった真砂清氏が昇任。 消防職員 7 名採用、職員総数 6 9 名となる。
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け 内海分署へ配置する。
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職（勸奨）職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。 第十三代消防長事務取扱 小豆島町長坂下一朗氏退任。 第十四代消防長事務取扱に土庄町長岡田好平氏任命。
平成 23 年 3 月	第十九代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 第十四代消防長事務取扱 土庄町長岡田好平氏退任。 消防次長、今口眞悟氏 他消防職員 2 名退職（内 2 名勸奨） 職員総数 6 6 名となる。
4 月	第二十代管理者に小豆島町長塩田幸雄氏就任 第十五代消防長に消防署長であった真砂清氏が昇任。 消防次長に総務課長であった前田彰夫氏昇任。 第十三代消防署長に消防副署長であった浜脇繁美氏が昇任。 消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 24 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 CD-I）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防署長、浜脇繁美氏 他消防職員 2 名退職。職員総数 6 6 名となる。
4 月	第十四代消防署長に総務課長であった石塚昭義氏が昇任。

	消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 25 年 3 月	12 月 指揮車(トヨタヴォクシー)を購入し本部へ配置する。 第二十二代管理者、小豆島町長塩田幸雄氏退任。 第十五代消防長、真砂清氏・消防次長、前田彰夫氏 他消防職員 4 名退職。(内 3 名勸奨) 職員総数 6 3 名となる。
	4 月 第二十一代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。 第十六代消防長に消防署長であった石塚昭義氏が昇任。 消防次長に情報指令課主幹であった上濱一弥氏昇任。 第十五代消防署長に総務課長であった須佐美高広氏が昇任。
平成 26 年 1 月	消防職員 6 名採用、職員総数 6 9 名となる。 第二十一代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 第二十二代管理者に土庄町長三枝邦彦氏就任。
	2 月 消防ポンプ自動車(日野CD-1)を購入し、内海分署へ配置する。
	3 月 消防職員 1 名退職(勸奨) 職員総数 6 8 名となる。
	4 月 消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
	8 月 消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備工事に着手する。
	9 月 小豆地区消防本部兼小豆島西消防署(仮称)、小豆島東消防署(仮称)の建設工事に着手する。
平成 27 年 3 月	12 月 高規格救急車(トヨタハイメディック)を購入し、本署へ配置する。 消防職員 2 名退職、職員総数 6 7 名となる。 第二十二代管理者、土庄町長三枝邦彦氏退任。
	4 月 第二十三代管理者に小豆島町長塩田幸雄氏就任。 消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 28 年 3 月	10 月 小豆島防火安全協会より防火広報車(軽四輪)の寄贈を受け、本署へ配置する。 消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備工事完了する。 小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署の建設工事完了する。 池田分署の業務を終了する。 消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
	4 月 組織改編に伴い 2 署体制へ移行、業務を開始する。 消防次長兼初代西消防署長に第十五代消防署長であった須佐美高広氏が就任。 初代東消防署長に内海分署長であった木下昌樹氏が昇任。 消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。

5. 主たる総務行事（平成27年）

2月	4日	香川県消防協会消防団長等研修	(米子市)
	～	5日	
	6日	小豆地区広域行政事務組合議会議員視察研修	(赤磐市)
	27日	臨時香川県消防長会議	(高松市)
3月	17日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
4月	7日	消防職員第62期初任教育入校式	(高松市)
	17日	第1回香川県消防長会議	(東かがわ市)
	19日	小豆地区消防連合会定期総会・表彰式	
	24日	全国消防長会四国支部意見発表会及び総会	(高松市)
5月	22日	第67回全国消防長会総会	(浜松市)
	～	23日	
6月	2日	消防功労者定例表彰式	(高松市)
	8日	小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	
	9日	香川県消防協会定時評議員会	(高松市)
7月	3日	地方公務員災害補償制度事務担当者会	(高松市)
	6日	第1回消防学校教育推進協議会	(高松市)
	10日	小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	
	24日	第44回消防救助技術四国地区指導会	(高松市)
8月	21日	香川県消防学校初任科生総合訓練に伴う講師派遣	(高松市)
	28日	小豆地区消防本部消防職員委員会	
9月	6日	第15普通科連隊創立61周年記念行事	(善通寺市)
	19日	初任教育生訓練発表会	(高松市)
	30日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会 消防職員第62期初任教育卒業式	(高松市)
10月	2日	共済組合事務担当者研修会	(高松市)
	9日	県下消防署長会議	(土庄町)
	22日	第2回消防学校教育推進協議会	(高松市)
	23日	全国消防長会四国支部消防長研修会	(松山市)
	29日	全国消防長会役員会	(熊本市)
	～	30日	
11月	1日	香川県総合防災訓練	(高松市)
	12日	香川県消防学校消防職員専科教育予防査察科講師派遣	(高松市)
	17日	警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭	(高松市)
	20日	第2回香川県消防長会議及び消防職員意見発表会	(琴平町)
12月	11日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	

6. 歴代消防長

平成28年4月1日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間			勤 務 年 数	
					年	月
初 代	清 水 勝	自 昭47.	4.	1	3年	0月
二 代	坂 本 傳	自 昭50.	6.	1	2年	0月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四十二	自 昭52.	6.	1		10月
四 代	洲 本 勝	自 昭55.	4.	1	4年	0月
五 代	谷 元 哲 彦	自 昭59.	4.	1	2年	0月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壯 一 郎	自 昭61.	4.	1	2年	0月
七 代	大 谷 隆 生	自 昭63.	4.	1	5年	0月
八 代	中 黒 輝 雄	自 平 5.	4.	1	2年	2月
九 代	前 田 忠	自 平 7.	7.	1	7年	9月
十 代	(消防長事務取扱) 三 木 佑 二 郎	自 平15.	4.	1	2年	0月
十一代	佐 渡 達 夫	自 平17.	4.	1	3年	0月
十二代	浜 岡 成 俊	自 平20.	4.	1	1年	0月
十三代	(消防長事務取扱) 坂 下 一 朗	自 平21.	4.	1	1年	1月
十四代	(消防長事務取扱) 岡 田 好 平	自 平22.	4.	23	1年	0月
十五代	真 砂 清	自 平23.	4.	1	2年	0月
十六代	石 塚 昭 義	自 平25.	現	4.		1 在

7. 歴代消防署長

平成 28 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7 . 4 . 1 至 昭 4 9 . 3 . 3 1	2 年	0 月
二 代	役 重 正 則	自 昭 4 9 . 4 . 1 至 昭 5 6 . 4 . 1 4	7 年	1 月
三 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 6 . 5 . 1 至 昭 6 1 . 3 . 3 1	4 年	1 1 月
四 代	中 黒 輝 雄	自 昭 6 1 . 4 . 1 至 平 5 . 3 . 3 1	7 年	0 月
五 代	前 田 忠	自 平 5 . 4 . 1 至 平 8 . 3 . 3 1	3 年	0 月
六 代	木 村 敏 夫	自 平 8 . 4 . 1 至 平 1 4 . 3 . 1	6 年	0 月
七 代	森 三 郎	自 平 1 4 . 4 . 1 至 平 1 5 . 1 1 . 3 0	1 年	8 月
八 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 5 . 1 2 . 1 至 平 1 6 . 3 . 3 1		4 月
九 代	浜 岡 成 俊	自 平 1 6 . 4 . 1 至 平 1 7 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 代	中 川 博 行	自 平 1 7 . 4 . 1 至 平 2 0 . 3 . 3 1	3 年	0 月
十 一 代	森 川 誠 三	自 平 2 0 . 4 . 1 至 平 2 1 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 二 代	真 砂 清	自 平 2 1 . 4 . 1 至 平 2 3 . 3 . 3 1	2 年	0 月
十 三 代	浜 脇 繁 美	自 平 2 3 . 4 . 1 至 平 2 4 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 四 代	石 塚 昭 義	自 平 2 4 . 4 . 1 至 平 2 5 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 五 代	須 佐 美 高 広	自 平 2 5 . 4 . 1 至 平 2 8 . 3 . 3 1	3 年	0 月

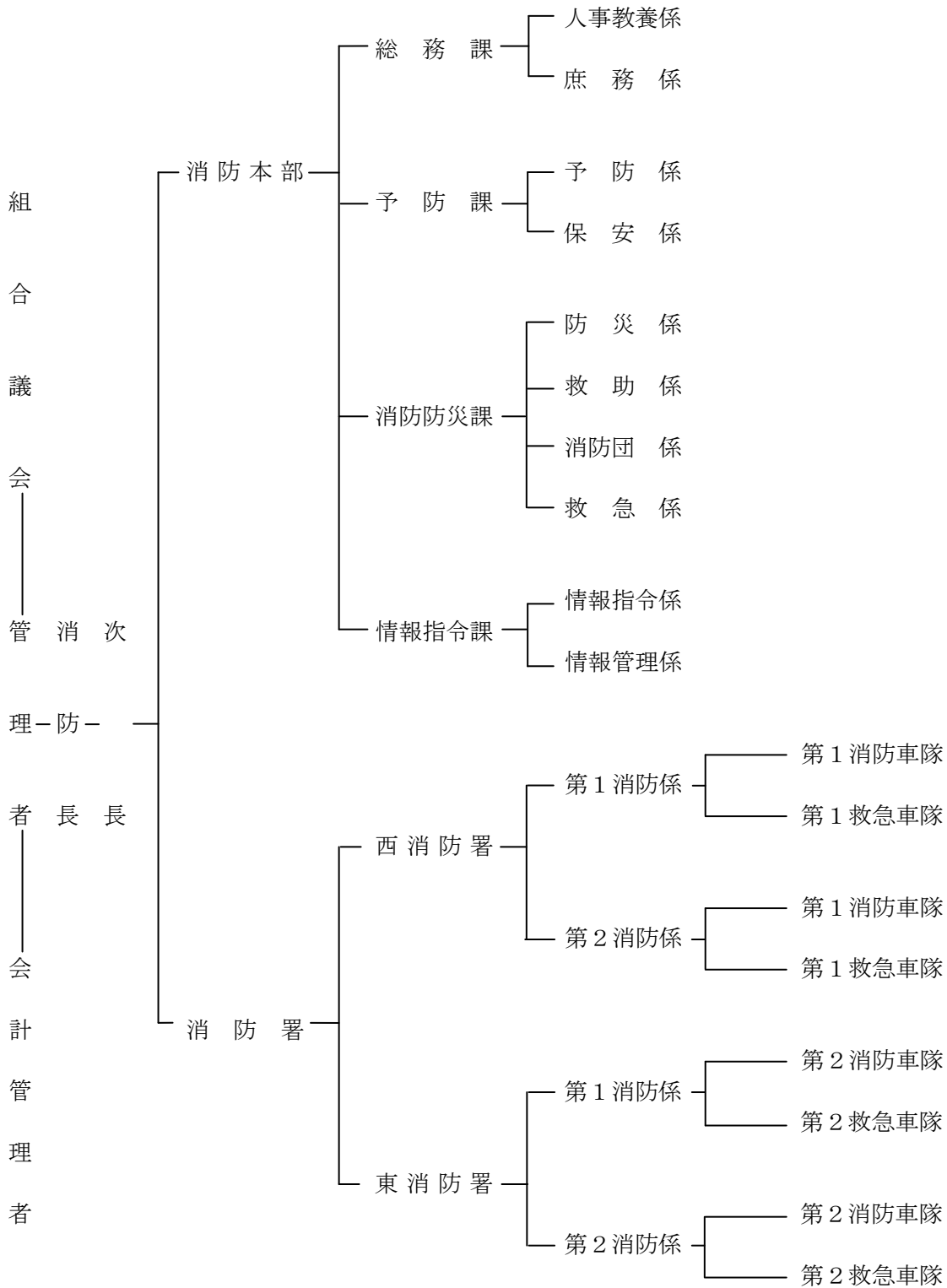
歴代西消防署長

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	須 佐 美 高 広	自 平 2 8 . 4 . 1 至 現 在		

歴代東消防署長

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	木 下 昌 樹	自 平 2 8 . 4 . 1 至 現 在		

8. 消防の組織・機構



9. 事務分掌

総務課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶務係

- (1) 公文書の收受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課の所管に属さない事項

予防課

予防係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保安係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

消 防 防 災 課

防 災 係

- (1) 防災計画に関する事項
- (2) 防災対策に関する事項
- (3) 防災演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 各町の地域防災計画に関する事項
- (6) 消防水利に関する事項
- (7) 災害報告に関する事項
- (8) 前各号のほか、防災業務に関する事項

救 助 係

- (1) 救助計画に関する事項
- (2) 前各号のほか、救助業務に関する事項

消 防 団 係

- (1) 消防団計画に関する事項
- (2) 前各号のほか、消防団業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

情 報 指 令 課

情報指令係

- (1) 通信指令に関する事項
- (2) 前各号のほか、情報指令に関する事項

情報管理係

- (1) 個人情報の管理に関する事項
- (2) 前各号のほか、情報管理に関する事項

10. 管内面積及び人口、世帯数

平成 28 年 4 月 1 日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.39	6,881	7,752	14,633	6,885
小 豆 島 町	95.63	7,376	8,044	15,420	7,097
合 計	170.02	14,257	15,796	30,053	13,982

(住民基本台帳による)

1 1. 消防庁舎の現状

区分 署所別	所在地	構造	建築延面積	竣工年月日
消防本部 兼西消防署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 10	鉄筋コンクリート 4 階 建	2,482.3 m ²	H27. 12. 28
東消防署	香川県小豆郡小豆島町安田 甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 4 階 建	951.9 m ²	H27. 12. 28

1 2. 職員の勤務年数

平成 28 年 4 月 1 日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
1 年 未 満						1	1
1 年～ 2 年未満						2	2
2 年～ 3 年未満						1	1
3 年～ 4 年未満						6	6
4 年～ 5 年未満						3	3
5 年～ 10 年未満					1 3	4	1 7
10 年～ 15 年未満				5	6		1 1
15 年～ 20 年未満							0
20 年～ 25 年未満			5	3			8
25 年～ 30 年未満			9				9
30 年 以 上	1	8	2				1 1
合 計	1	8	1 6	8	1 9	1 7	6 9
平 均	41.0	36.1	25.9	16.1	8.3	3.2	15.7

13. 職員の年齢

平成28年4月1日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18才～20才						2	2
21才～25才						9	9
26才～30才					13	6	19
31才～35才				3	6		9
36才～40才				5			5
41才～45才			9				9
46才～50才			7				7
51才～55才		5					5
56才～60才	1	3					4
合計	1	8	16	8	19	17	69
平均年齢	59.0	54.4	45.6	36.3	29.7	23.8	36.0

14. 職員の配置状況

平成28年4月1日現在

階級別 署所別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部	1	6	9	4	10	10	40
西消防署		(2)	(9)	(4)	(10)	(9)	(34)
東消防署		2	6	4	9	7	28
県防災航空隊			1				1
合計	1	8	16	8	19	17	69

※()内は兼務

15. 消防力の現勢

平成 28 年 4 月 1 日現在

署所・人員

	現 有 数
署 所 数	2
指 揮 隊 員	7
消 防 隊 員	36
救 急 隊 員	16
救 助 隊 員	0 (兼務 18)
通 信 要 員	5
予 防 要 員	20 (兼務 19)
庶務処理等の要員	4

車両

	現 有 数	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	4	
は し ご 自 動 車	1	
救助工作車 (省令第 4 条)	1	
高 規 格 救 急 車	4	
特 殊 車 等	指 揮 車	1
	査 察 広 報 車	1
	小型ポンプ付水槽車	1
	そ の 他 の 車 両	4

	基 準 数	現 有 数	充 足 率
消 防 水 利	898	469	52.2

16. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

平成 28 年 4 月 1 日現在

区 分 種 別	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k m ²)
消 防 職 員 1 人 当 り	436	203	2.46
消 防 ポ ン プ 自 動 車 1 台 当 り	7,513	3,496	42.51
救 急 車 1 台 当 り	7,513	3,496	42.51
署 1 ヶ 所 当 り	15,027	6,991	85.02

17. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	平成27年度予算額	平成28年度予算額
1. 分担金及び負担金	753,658	594,251
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金	0	0
4. 県支出金	57,200	0
5. 財産収入	0	0
6. 寄付金	0	0
7. 繰越金	0	0
8. 諸収入	0	0
9. 組合債	1,191,700	0
合 計	2,002,658	594,351

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	平成27年度予算額	平成28年度予算額
1. 総務費	496,938	503,178
2. 予防費	929	985
3. 警防費	10,084	5,601
4. 救急費	6,112	5,703
5. 水防費	203	4,398
6. 施設費	1,470,086	48,411
7. 公債費	18,306	26,075
合 計	2,002,658	594,351

18. 平成28年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土庄町	小豆島町	合 計
一般会計予算額	7,620,000	10,469,000	18,089,000
消防予算額	335,268	372,906	708,174
常備消防費	260,288	333,963	594,251
非常備消防費	63,737	36,550	100,287
消防施設費	0	900	900
水防費	890	1,490	2,380
災害対策費	10,353	3	10,356
一般会計と消防費の比(%)	4.4	3.6	4.0
住民1人当りの消防費用(円)	24,207	24,183	23,564
一世帯当たりの消防費用(円)	55,526	52,544	50,649

19. 消防費基準財政需要額及び町負担金(決算額)

(単位：千円)

町別	平成27年度 消防費基準財政需要額	平成28年度 町負担金
土庄町	260,262	260,288
小豆島町	335,158	333,963
合 計	595,420	594,251

20. 職員特殊技能資格取得状況

平成28年4月1日現在

種 別		階 級 別		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
自動車 運転 免許	大型1種	1	3	9	5	17	10	43		
	大型2種			1				1		
	中型1種	1	7	16	8	18	8	53		
	普通1種					1	14	15		
	自動2輪		1	4	3	6	5	19		
クレーン・玉掛け・巻き上げ機 (クレーン・玉掛け)		(1)	(2)	4 (5)	3	2		9 (8)		
消防用設備点検資格者 第1種・第2種				1				1		
消防設備士許 免			1	4		8	4	17		
危険物取扱者許 免			1	7	3	18	10	39		
予防技術検定				6		4		10		
第二級陸上特殊士 無線技士		1	5	10	6	6		28		
第三級陸上特殊士 無線技士			1	2				3		
第四級アマチュア 無線技士			1					1		
小型船舶操縦士許 免2級		1	3	10	2	7	1	24		
救急救命士			3	5	4	3	1	16		
応急手当員			5	15	8	10	1	39		
石油機器技術管理士			1	1				2		
第II種酸素欠乏者 危険作業主任者			2	8	5	10		25		
潜水士				3	3	4		10		
特定化学物質等 作業主任者			1	2				3		

21. 職員教養状況調

平成 28 年 4 月 1 日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科	1				
幹 部 科			2					2
警 防 科								
予 防 科								
救 急 科								
救 助 科				1				1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1	8	16	8	19	17	69
	初 級 幹 部 科			3	1			4
	中 級 幹 部 科		1	2				3
	上 級 幹 部 科	1	1					2
	予 防 査 察 科		6	4	1	4	0	15
	危 険 物 科			3		2		5
	火 災 調 査 科		2	5	3	2		12
	警 防 科			5	1	4		10
	救 急 科		3	16	8	10	5	42
	救 助 科	1	4	7	5	10		27
その他	救 急 救 命 士		3	5	4	3	1	16

22. 職員の居住地調

平成 28 年 4 月 1 日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		土 庄 町		1	8	5	15	6
小 豆 島 町	1	7	8	3	4	11	34	
合 計	1	8	16	8	19	17	69	

23. 職員任用退職状況調

平成28年4月1日現在

年度	区分	新任	退職	転入出		職員総数
				入	出	
昭和63年		1				69
平成元年		3	2			70
平成2年		2	2		1	69
平成3年		3	2		1	69
平成4年		2	1			70
平成5年		2	2		1	69
平成6年		2				71
平成7年						71
平成8年		2	1	1	2	71
平成9年						71
平成10年						71
平成11年						71
平成12年						71
平成13年		1	1			71
平成14年		2	2			71
平成15年		3	1			73
平成16年			2			71
平成17年		1	1			71
平成18年		5	5			71
平成19年		2	2			71
平成20年		3	5			69
平成21年		7	7			69
平成22年		2	2			69
平成23年		3	3			69
平成24年		3	3			69
平成25年		6	6			69
平成26年		1	1			69
平成27年		2	2			69
平成28年		1	1			69

24. 職員の推移

平成28年4月1日現在

階級別 年度別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
昭和63年	1	1	4	7	33	20	3	69
平成元年	1	1	4	7	38	13	6	70
平成2年	1	1	5	7	36	11	8	69
平成3年	1	2	4	10	31	12	9	69
平成4年	1	2	4	14	28	10	11	70
平成5年	1	2	3	18	26	9	10	69
平成6年	1	2	3	18	26	9	12	71
平成7年	1	2	4	19	26	8	11	71
平成8年	1	4	3	17	25	11	10	71
平成9年	1	4	3	22	22	11	8	71
平成10年	1	4	3	27	18	13	5	71
平成11年	1	4	3	28	19	12	4	71
平成12年	1	5	4	30	16	12	3	71
平成13年	1	4	4	32	15	12	3	71
平成14年	1	3	5	32	15	11	4	71
平成15年		3	9	29	15	12	5	73
平成16年		2	9	29	17	9	5	71
平成17年	1	2	8	30	16	8	6	71
平成18年	1	5	3	29	17	5	11	71
平成19年	1	5	6	27	15	6	11	71
平成20年	1	3	7	25	14	7	12	69
平成21年		2	5	23	14	6	19	69
平成22年		2	9	21	10	7	20	69
平成23年		1	13	15	12	6	22	69
平成24年		1	13	15	11	9	20	69
平成25年		1	7	15	11	10	25	69
平成26年		1	8	14	12	9	25	69
平成27年		1	9	14	9	14	22	69
平成28年		1	8	16	8	19	17	69

予 防

1. 主たる予防行事（平成27年）

- 1月16日 重要文化財の予防査察
～27日
- 3月1日 春季全国火災予防運動
～7日
- 5月～9月 防火対象物定期点検報告制度に基づく立入検査
- 5月14日 平成27年度小豆島防火安全協会役員会
- 6月7日 危険物安全週間
～13日
- 6月11日 平成27年度香川県危険物安全大会
- 6月16日 平成27年度小豆島防火安全協会定時総会
- 6月22日 平成27年度小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会総会
- 6月22日 平成27年度小豆地区少年婦人防火委員会総会
- 8月5日 危険物取扱者保安講習
- 10月2日 平成27年度県下予防事務担当者会議 (坂出市)
- 11月1日 移動タンク貯蔵所立入検査
～30日
- 11月9日 秋季全国火災予防運動
～15日
- 11月9日 香川県小豆総合事務所建築との社会福祉施設等に係る合同立入検査
- 11月16日 移動タンク貯蔵所路上検査
- 12月7日 香川県小豆総合事務所建築との雑居ビル等に係る合同立入検査

2. 「防火優良認定証」交付対象物状況

平成28年4月1日現在

区分 用途	定期点検報告制度 対象物数	防火優良認定証 交付対象物数	交付率 (%)
旅館・ホテル等	29	23	79.3

3. 自主防災組織の現況

平成28年6月1日現在

- 小豆島防火安全協会（会員数289事業所）
- 小豆地区少年婦人防火委員会 ———— 各地区少年消防クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火クラブ

少年消防クラブ（ 5クラブ 190名）

平成28年6月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
安田少年消防クラブ	昭和26年12月8日	101名	地区	小豆島町
坂手	昭和28年5月5日	8名	〃	〃
鹿島	昭和54年12月3日	33名	〃	土庄町
橘	昭和55年5月30日	27名	〃	小豆島町
大木戸	昭和57年4月1日	21名	〃	土庄町

婦人防火クラブ（ 13クラブ 1,009名）

平成28年6月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
苗羽婦人防火クラブ	昭和20年10月10日	120名	地区	小豆島町
坂手	昭和22年4月1日	70名	〃	〃
草壁	昭和23年4月1日	108名	〃	〃
福田	昭和24年4月1日	休止	〃	〃
安田	昭和24年7月11日	61名	〃	〃
西村	平成13年4月1日	90名	〃	〃
土庄町婦人防火クラブ連合会	昭和54年12月3日	兼務	〃	土庄町
〃 土庄支部	昭和26年1月1日	60名	〃	〃
〃 湊崎支部	〃	102名	〃	〃
〃 大鐸支部	〃	16名	〃	〃
〃 北浦支部	〃	68名	〃	〃
〃 四海支部	〃	71名	〃	〃
〃 豊島支部	〃	休止	〃	〃
池田婦人防火クラブ	昭和37年1月7日	218名	〃	小豆島町
馬越	昭和56年8月1日	25名	〃	土庄町

4. 防火対象物現況表（150㎡以上）

平成28年4月1日現在（単位：棟）

項 目	町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計		
		防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	31	31	28	28	59	59
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	2	2			2	2
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2			2	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店	1				1	
	ロ	飲 食 店	18	12	10	8	28	20
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	32	24	27	19	59	43
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	52	39	36	24	88	63
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	70	5	92	11	162	16
(6)	イ	病院・診療所等	10	2	10	5	20	7
	ロ	養護老人ホーム等	9	9	11	9	20	18
	ハ	老人デイサービスセンター等	14	13	12	9	26	22
	ニ	幼稚園・養護学校等	3	3	4	3	7	6
(7)		小・中・高・大学各種学校	15	4	19	7	34	11
(8)		図書館・博物館等	3	3	7	5	10	8
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	4	2	6		10	2
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	22	9	17	7	39	16
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	138	3	189	16	327	19
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			1		1	
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	16		9		25	
(14)		倉 庫	61		94		155	
(15)		前各項に該当しない事業場	50	15	57	20	107	35
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	57	32	51	38	108	70
	ロ	イ以外の複合用途対象物	17	2	12	1	29	3
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等	2		2		4	
合 計			629	212	694	210	1,323	422

5. 防火管理者選任届状況

平成 28 年 4 月 1 日現在 (単位：棟)

項目	町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
	防火対象物区分				
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	9	20	29
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー 等			
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	2		2
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店	6	6	12
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	18	13	31
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	35	24	59
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 等		1	1
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	2	5	7
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	8	9	17
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	13	9	22
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	4	3	7
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	6	7	13
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	2	5	7
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等	1		1
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	10	2	12
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	4	11	15
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫			
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	19	11	30
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	18	28	46
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物			
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
合 計			157	154	311

6. 建築同意事務処理状況

(1) 町別状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日 (面積: m²)

工事別	町別	土庄町		小豆島町		合計	
		件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
新築	築	11	2,815.72	11	10,998.71	22	13,814.43
増築	築	2	5,364.73	1	96.39	3	5,461.12
改築	築			1	51.10	1	51.10
用途変更	更						
移転	転						
増改築	築						
大規模な修繕							
大規模な模様替え							
その他	他			8	40,648.79	8	40,648.79
合計	計	13	8,180.45	21	51,794.99	34	59,975.44

(2) 月別・工事別状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日 (面積: m²)

区分	工事別	新築	増築	改築	用途変更	その他	合計
		件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
4月	件数	1					1
	延面積	326.48					326.48
5月	件数	1				1	2
	延面積	990.00				907.11	1897.11
6月	件数	4				1	5
	延面積	8,245.61				3,657.20	11,902.81
7月	件数	1	2				3
	延面積	50.21	5,364.73				5,414.94
8月	件数	1					1
	延面積	256.80					256.80
9月	件数	2					2
	延面積	898.43					898.43
10月	件数	1				1	2
	延面積	227.15				680.77	907.92
11月	件数					1	1
	延面積					13,210.34	13,210.34
12月	件数	2	1			2	5
	延面積	344.30	96.39			18,319.78	18,760.47
1月	件数	2					2
	延面積	336.89					336.89
2月	件数	4				2	6
	延面積	1,672.90				3,873.59	5,546.49
3月	件数	3		1			4
	延面積	465.66		51.10			516.76
合計	件数	22	3	1		8	34
	延面積	13,814.43	5,461.12	51.10		40,648.79	59,975.44

(3) 用途別状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日 (面積: m²)

項目	町別 防火対象物区分	土庄町		小豆島町		合計		
		件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積	
(1)	イ	劇場・映画館等						
	ロ	公会堂又は集会場						
(2)	イ	キャバレー・カフェ等						
	ロ	遊技場又はダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店						
(4)		百貨店・マーケット・店舗等			2	1,105.79	2	1,105.79
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所						
	ロ	共同住宅・寄宿舎等			3	2,445.81	3	2,445.81
(6)	イ	病院・診療所等			1	18,051.27	1	18,051.27
	ロ	養護老人ホーム等	1	990.00			1	990.00
	ハ	老人デイサービスセンター等			2	364.90	2	364.90
	ニ	幼稚園・養護学校等						
(7)		小・中・高・大学各種学校			3	21,337.64	3	21,337.64
(8)		図書館・博物館等						
(9)	イ	サウナ等						
	ロ	公衆浴場						
(10)		停車場等						
(11)		神社・寺院・教会						
(12)	イ	工場又は作業場	2	5,364.73	4	7,896.41	6	13,261.14
	ロ	映画・テレビスタジオ						
(13)		自動車車庫・駐車場	1	29.22			1	29.22
(14)		倉庫	3	883.19			3	883.19
(15)		前各項に該当しない事業場	1	200.93	3	107.64	4	308.57
(16)	イ	複合・特定防火対象物			2	435.32	2	435.32
	ロ	イ以外の複合用途対象物						
(17)		重要文化財建造物等						
		その他						
		住宅	5	712.38	1	50.21	6	762.59
		合計	13	8,180.45	21	51,794.99	34	59,975.44

7. 危険物施設の現況

平成 28 年 4 月 1 日現在

種 別		町 別		
		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
製 造 所			1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	11	12
	屋 外 貯 蔵 所	1	2	3
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	22	23	45
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	21	17	38
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	19	18	37
	小 計	65	72	137
取 扱 所	給 油 取 扱 所	23	19	42
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3	1	4
	第 2 種 販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	14	12	26
	小 計	40	32	72
合 計		105	105	210

8. 危険物施設の許認可状況

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

種 別		区 分										
		設 置 許 可	変 更 許 可	(完 成 設 置 検 査)	(完 成 変 更 検 査)	承 仮 使 認 用	仮 取 扱 承 認 び	選 保 安 任 監 督 者 届 者	解 保 安 任 監 督 者 届 者	廃 止 届	合 計	
製 造 所												
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所							1				1
	屋 外 貯 蔵 所											
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所											
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所											
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1	2	1	1	1					6	
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									1	1	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	3	1	3					4	12	
	小 計	2	5	2	4	1		1		5	20	
取 扱 所	給 油 取 扱 所		4		4	4		3	3		18	
	第 1 種 販 売 取 扱 所											
	第 2 種 販 売 取 扱 所											
	一 般 取 扱 所					1					1	
	小 計		4		4	5		3	3		19	
合 計		2	9	2	8	6		4	3	5	39	

9. 各種届出事務処理状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

種 別	町 別		
	土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
工事整備対象設備等着工届	16	22	38
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	21	58	79
消防用設備等点検結果報告	83	95	178
防火対象物使用開始届	12	19	31
防火管理者選任(解任)届	22	15	37
消防計画書作成(変更)届	35	23	58
消火・避難訓練実施届	69	111	180
り 災 証 明	2	1	3
ボ イ ラ ー 設 置 届	4	7	11
乾 燥 設 備 設 置 届	0	0	0
発電変電蓄電池設備設置届	12	12	24
ネオン管灯設備設置届	0	0	0
水素ガスを充填する気球の設置届	1	0	1
火災とまぎらわしい行為の届	6	36	42
煙火打ち上げ・仕掛届	7	8	15
催 物 開 催 届	0	0	0
露 店 の 開 設 届	31	49	80
少量危険物貯蔵取扱届	4	8	12
圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届	0	4	4
液化ガス貯蔵取扱届	2	0	2
液化石油ガス設備工事届	2	0	2
旅館等適合通知書交付申請	2	1	3
合 計	331	469	800

10. 広報・広聴実施状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

町 別 種 別	土 庄 町			小 豆 島 町			合 計		
	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数
対 象									
学 校				1	10	5	1	10	5
幼 稚 園 等	13	321	41	11	562	46	24	883	87
旅 館	20	55	59	7	43	24	27	98	83
工場・作業場	1	170	8				1	170	8
婦 人 会									
老 人 会									
そ の 他	10	85	32	27	336	86	37	421	118
合 計	44	631	140	46	951	161	90	1,582	301

11. 中高層建築物(4階以上)の現況表

平成28年4月1日現在

項 目	町 別 階 別 対 象 物	土 庄 町						小 豆 島 町						合 計									
		四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	小 計	四 階	五 階	六 階	八 階	十 階	十 三 階	小 計	四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	十 三 階	合 計
(1)	イ 劇場・映画館等																						
	ロ 公会堂又は集会場	1						1								1							1
(2)	イ キャバレー・カフェー等	1						1															1
	ロ 遊技場又はダンスホール																						
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等																						
	ニ カラオケボックス等																						
(3)	イ 待合・料理店																						
	ロ 飲食店																						
(4)	百貨店・マーケット・店舗等																						
(5)	イ 旅館・ホテル・宿泊所	7	3			2	1	13						1	1	7	3			2	1	1	14
	ロ 共同住宅・寄宿舎等	7	4	1				12	14	17	1				32	21	21	2					44
(6)	イ 病院・診療所等		1					1		1	3			4		2	3						5
	ロ 養護老人ホーム等		1					1	2					2	2	1							3
	ハ 老人デイサービスセンター等	2						2	1					1	3								3
	ニ 幼稚園・養護学校等																						
(7)	小・中・高・大学各種学校	1						1	1					1	2								2
(10)	停車場等																						
(11)	神社・寺院・教会		1					1								1							1
(12)	イ 工場・作業場	1						1	2	1				3	3	1							4
	ロ 映画・テレビスタジオ																						
(14)	倉庫																						
(15)	前各項に該当しない事業場	2			1			3	3					3	5				1				6
(16)	イ 複合・特定防火対象物	6			1			7		1			1	2	6	1			1		1		9
	ロ イ以外の複合用途対象物	6						6		1				1	6	1							7
(17)	重要文化財建造物等																						
合 計		34	10	1	2	2	1	50	23	21	4		1	1	50	57	31	5	2	2	2	1	100

消防防災



防 災 係・救 助 係

近年、建築構造・設備の高度化や生活様式の変化、さらには自然災害の様相も大きく変化しています。複雑多様化する災害から地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、資器材の整備による防災体制の充実強化、教養訓練、防災ヘリとの合同訓練等の実施による職員の資質向上に努めております。

また、職員の若年化に伴い、各種資器材の取り扱い訓練、署長点検等により隊員・組織の消防力強化に努めております。

救 急 係

傷病者の救命率の向上や予後の改善のため、救急救命士の乗車体制を確立し、香川県メディカルコントロール協議会のもと病院前救護における救急医療の質の高度化に努めています。

高度救命資機材の整備の充実を図り、ICT（情報通信技術）を活用したスマートフォンを救急車に搭載し、患者情報・救急現場写真を医療機関に電送し詳細な情報を共有することにより、迅速な搬送並びに救命処置ができるような体制を整えています。

1. 主たる警防行事（平成27年）

1月11日	土庄町消防出初式	
1月11日	小豆島町消防出初式	
7月22日	平成27年度香川地区大量排出油等防除協議会定例会議	(高松市)
7月24日	第44回消防救助技術四国地区指導会	(高松市)
9月13日	平成27年度香川県消防操法大会	(高松市)
10月8日	平成27年度県下警防救助事務担当者会議	(丸亀市)
10月31日	平成27年度中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練	(香川県)
11月1日	〃	
11月10日	平成27年度香川県石油コンビナート総合防災訓練	(坂出市)
11月13日	第5回緊急消防援助隊全国合同訓練	(千葉県)
11月14日	〃	

(救急)

2月16日	平成26年度第3回メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
3月2日	平成26年度香川県メディカルコントロール協議会	(高松市)
3月23日	平成26年度事後検証症例発表会	(高松市)
3月30日	平成26年度第4回事後検証会議	(高松市)
6月15日	平成27年度第1回メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
7月20日	第21回香川外傷セミナーJPTECプロバイダーコース	(高松市)
7月27日	平成27年度第1回事後検証会議	(高松市)
9月7日	平成27年度第2回メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
9月18日	香川県地域医療構想における構想区域の設定について	(高松市)
11月13日	平成27年度臨時メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
11月16日	平成27年度第2回事後検証会議	(高松市)
11月27日	平成27年度県下救急事務担当者会議	(高松市)
12月2日	第24回全国救急隊員シンポジウム	(札幌市)
～3日		
12月19日	第28回ドクターヘリ活動検証会	(倉敷市)
12月21日	平成27年度第3回事後検証会議	(高松市)

2. 消防車両等配置状況

平成28年4月1日現在

	名 称	種 別	車 名	購 入 年 月 日	備 考
西 署	指 揮 車	指揮車	トヨタ	平成24年12月13日	
	ポンプ1号車	消防ポンプ車CD-1	三菱	平成18年 3月27日	水槽 7000ℓ
	ポンプ2号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成24年 2月28日	水槽6000ℓ CAFS装置付き
	ポンプ3号車	水槽車小型動力ポンプB-3	三菱	平成 5年12月 7日	水槽2,6000ℓ
	は し ご 車	はしご車 35m級	日野	平成 6年11月17日	
	救 助 工 作 車	救助工作車II型	日野	平成16年 3月19日	
	防災工作車1号車	積載車	三菱	平成22年 9月22日	
	救 急 1 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成20年 1月25日	
	救 急 2 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成26年12月16日	
	査 察 広 報 車		三菱	平成22年 8月24日	
	軽 四 広 報 車		スズキ	平成27年10月30日	
東 署	ポンプ4号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成17年 3月23日	
	ポンプ5号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成26年 2月24日	水槽6000ℓ CAFS装置付き
	防災工作車2号車	積載車	トヨタ	平成 元年 9月12日	
	防災工作車3号車	積載車	三菱	平成23年 9月28日	
	救 急 3 号 車	高規格救急車 グランビア	トヨタ	平成15年 3月20日	
	救 急 4 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成21年11月27日	

3. 主な機械器具の配置状況

平成28年4月1日現在

器 具 別		署 所 別		
		西 署	東 署	合 計
放 水 器 具	消防用ホース65mm	92	148	240
	消防用ホース50mm	147	201	348
	高 圧ホース25mm	-	12	12
	小型動力ポンプ B-3級	1	2	3
	小型動力ポンプ C-1級	1	-	1
	手引ホースカー	2	2	4
	フォグガン	3	2	5
	無反動ノズル	2	2	4
	放水銃	2	2	4
	集水器	6	6	12
	低発砲ノズル800型	2	1	3
	低発砲ノズル400型	2	2	4
	低発砲ノズル200型	-	6	6
	ユニット式プロポーションナー	1	2	3
	ラインプロポーションナー	3	1	4
	ピックアップ式泡ノズル	3	1	4
	ウォーターチャージャー	-	1	1
	背負式ポンプ	6	12	18
	簡易水槽	1	1	2
一 般 救 助 用 器 具	かぎ付はしご	3	2	5
	三連はしご	2	2	4
	救命索発射銃	2	2	4
	サバイバースリング又は救助用縛帯	4	7	11
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ	1	2	3
	油圧スプレッダー	1	2	3
	可搬ウィンチ	2	2	4
	マット型空気ジャッキ	1	2	3
	大型油圧スプレッダー	1	1	2
切 断 用 器 具	エンジンカッター	2	2	4
	酸素溶断器	1	-	1
	チェーンソー	1	4	5
	鉄線カッター	4	8	12
	大型油圧切断機	1	1	2
	空気切断機	1	2	3
破 壊 用 器 具	万能斧	2	3	5
	削岩機	1	1	2
	ハンマードリル	3	1	4
測 定 用 器 具	複合ガス検知器	1	1	2

呼吸保護用器具	空気呼吸器	18	9	27
	予備ボンベ	22	11	33
	空気補充用ボンベ	-	-	-
	防塵マスク	30	26	56
	送排風機	1	-	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	2	4
	耐電衣	3	-	3
	耐電ズボン	3	-	3
	耐電長靴	3	-	3
	耐電手袋	10	6	16
	防塵メガネ	30	26	56
水難救助用器具	救命胴衣	30	25	55
	救命浮環	3	4	7
	救命ボート	2	4	6
	船外機	1	-	1
山岳救助用器具	バスケット型担架	2	2	4
その他の救助用器具	投光器	6	3	9
	携帯拡声器	10	1	11
	応急処置用セット	2	-	2
	緩降機	1	-	1
	発電機	5	3	8
その他の器具	空気充填機	1	-	1
	モッコ	1	-	1
救急器具	携帯用酸素吸入器	3	2	5
	自動体外式除細動器	4	3	7
	自動式心臓マッサージ器	1	1	2
	ショックパンツ	3	2	5
	患者監視モニター	4	2	6
	救急資機材滅菌器	1	1	2
	殺菌消毒器	2	1	3
	全脊柱固定具	3	3	6

4. 消火薬剤の備蓄状況

平成 28 年 4 月 1 日現在

薬剤種別	署所別		
	西 署	東 署	合 計
化学消火薬剤 たん白系 3 % 型	1,240ℓ	1,800ℓ	3,040ℓ

5. 消防水利の状況

平成28年4月1日現在

種 別		町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
		公 設	私 設			
防 火 水 槽	40m ³ 以 上	公 設		53	93	146
		私 設		-	-	-
	40m ³ 未 満	公 設		7	4	11
		私 設		-	-	-
消 火 栓	150mm 以 上	公 設		77	134	211
		私 設		-	-	-
	150mm 未 満	公 設		563	354	917
		私 設		-	-	-
そ の 他	プ ー ル			9	9	18
	池			40	44	84
	海			38	56	94
	井 戸			13	16	29
合 計				800	710	1,510

6. 防災関係届出事務処理状況

平成27年1月1日～12月31日

種 別	署 所 別			合 計
	本 署	内 海 分 署	池 田 分 署	
消防活動に支障をおよぼす 恐れのある道路占用届出	25	14	3	42

7. 災害別出動状況

平成27年1月1日～12月31日

種別 区分	火 災		火災外		救 助		救急支援		危険物の排除		誤報 偵察等		風水害等		その他		合 計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
災 害 件 数	3 件		4 件		9 件		171 件		12 件		15 件		0 件		4 件		218 件	
出 動 内 訳	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
本 署	3	15	2	15	8	51	52	186	7	35	6	23	-	-	-	-	78	325
内 海 分 署	3	12	4	13	3	10	89	276	5	17	7	22	-	-	4	24	115	374
池 田 分 署	3	9	2	7	3	10	32	109	2	8	5	15	-	-	-	-	47	158
合 計	9	36	8	35	14	71	173	571	14	60	18	60	-	-	4	24	240	857

8. 救急法指導状況

(1) 普通救命講習実施状況

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

講習種別	実施回数	対象延べ人数
普通救命講習Ⅰ	17	149
普通救命講習Ⅱ	0	0
普通救命講習Ⅲ	1	7
合計	18	156

(2) 救急講習会実施状況

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

実施回数	対象延べ人数
36	856

(3) 「いのちの先生」実施状況

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

実施回数	対象延べ人数
2	336

情報指令

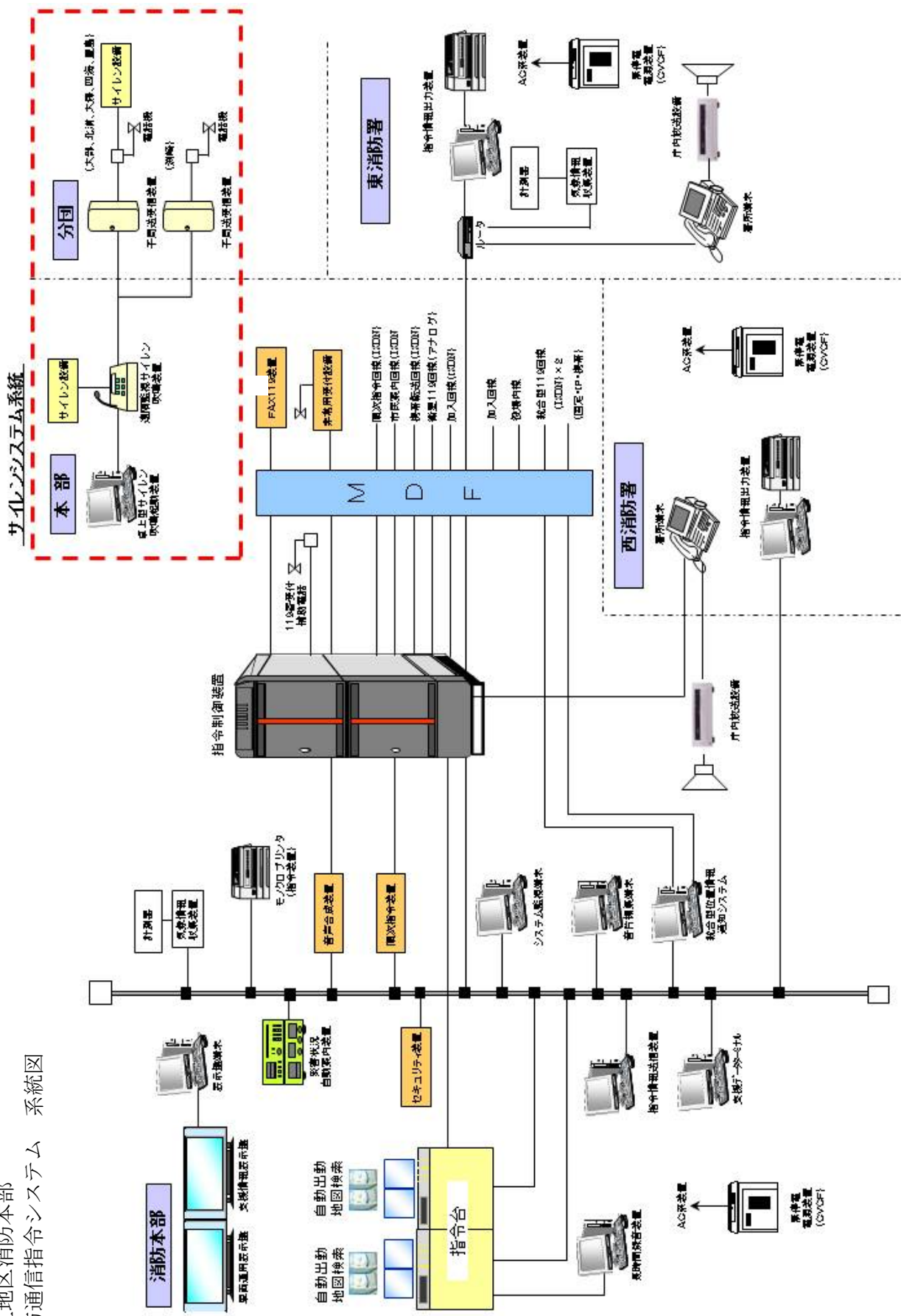
情報指令係・情報管理係

市街地等の都市構造の変化や、高齢化社会の進展に伴い、災害及び救急発生件数は年々増加し、災害態様は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあります。

そこで、災害情報を迅速かつ正確に把握し、消防救急活動の初動体制を強化するため、平成28年3月に消防救急デジタル無線の整備、並びに「高機能消防指令センター」を導入、これまでの「携帯IP電話位置情報通知システム」に加えて「統合型発信地情報システム」を整備し、情報処理技術の高度化を図っています。

また、市民案内テレホンサービスも導入し、災害情報を地域住民の皆様にも提供できるようになっています。

1. 小豆地区消防本部
消防通信指令システム 系統図



2. 通信施設状況

小豆島西消防署

平成 28 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	アナログ波	開始年月日
ポンプ1号車	移動局	しょうず しょうぼう にし 1	5w	○	○	○	○	○	○			○	平成 28 年 3 月 7 日
ポンプ2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
ポンプ3号車	〃	〃 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作車1号車	〃	〃 6	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本軽四積載車	〃	〃 8	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本指揮車	〃	〃 9	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指揮車	〃	〃 10	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
はしご車	〃	〃 11	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
救助工作車	〃	〃 12	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
軽四広報車	〃	〃 13	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報車	〃	〃 14	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指揮車 後部	〃	〃 16	〃	○	○	○	○	○	○				〃
予備	〃	〃 17	〃	○	○	○	○	○	○				〃
高規格救急車1号車	〃	しょうず きゅうきゅう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
西署	〃	しょうず しょうぼう にし 100	1w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 101	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 102	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 103	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 106	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 108	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 109	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 110	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 111	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 112	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 113	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 114	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 120	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 130	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう にし 121	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 122	〃	○	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	アナログ波	開始年月日
西 署	移動局	しょうず しょうぼう 1	1w							○	○		平成 28 年 3 月 7 日
〃	〃	〃 2	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 3	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 4	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 5	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 6	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 7	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 8	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 9	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 10	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 11	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 12	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 13	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 14	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 15	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 16	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 17	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 18	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 19	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 20	〃							○	○		〃
〃	〃	しょうず かはん にし 1	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず たくじょう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○				〃

小豆島東消防署

平成 28 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	アナログ波	開始年月日
ポンプ 4 号車	移動局	しょうず しょうぼう ひがし 4	5w	○	○	○	○	○	○			○	平成 28 年 3 月 7 日
ポンプ 5 号車	〃	〃 5	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作車 2 号車	〃	〃 7	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報車	〃	〃 15	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 3 号車	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 4 号車	〃	〃 4	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
東 署	〃	しょうず しょうぼう ひがし 104	1w	○	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	アナログ波	開始年月日
東 署	移動局	〃 105	1w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
〃	〃	〃 107	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 115	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 116	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 140	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 150	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 123	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 124	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず しょうぼう 21	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 22	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 23	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 24	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 25	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 26	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 27	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 28	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 29	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 30	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 31	〃							○	○		〃
〃	〃	しょうず かはん ひがし 2	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず たくじょう ひがし 2	〃	○	○	○	○	○	○				〃

基地局

平成 28 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	アナログ波	開始年月日
土庄基地局	基地局	とのしょうきちきょく	10w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
田井基地局	〃	たいきちきょく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
内海基地局	〃	うちのみきちきょく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
福田基地局	〃	ふくだきちきょく	〃	○	○	○	○	○	○				〃

3. 119番受信状況

平成27年1月1日～12月31日

区分 月別	火災	救急	救助	問い合わせ	試験	悪戯	間違い	その他	合計
	1月	1	99	0	8	20	2	3	10
2月	0	72	0	9	40	6	7	5	139
3月	1	76	0	11	37	1	5	7	138
4月	3	66	5	4	33	0	3	7	121
5月	0	75	0	11	13	1	3	6	109
6月	3	58	0	9	59	1	6	4	140
7月	1	96	1	15	26	2	11	14	166
8月	1	103	0	9	55	0	10	6	184
9月	0	60	0	9	44	2	5	10	130
10月	0	85	0	11	30	2	6	13	147
11月	1	79	0	6	19	0	5	7	117
12月	0	78	0	14	16	0	4	7	119
合計	11	947	6	116	392	17	68	96	1,653

4. 気象状況（観測地：消防本部）

平成27年1月1日～12月31日

区分 月別	天気日数				気温(℃)		湿度(%)		最多風向	平均風速(m/s)	降雨日数	降雨量(mm)
	晴	曇	雨	雪	最高	最低	最高	最低				
1月	16	10	5		13	-1	95	28	W	2.6	5	57
2月	17	9	2		16	-1	94	20	W	2.5	2	18
3月	17	7	7		22	0	97	20	W	2.1	7	86
4月	13	10	7		26	5	96	19	W	1.8	7	103
5月	25	3	3		31	12	95	21	W	1.9	3	54
6月	15	9	6		32	15	95	28	E	2.1	6	117
7月	12	12	7		36	20	96	30	E	1.6	7	179
8月	19	6	6		37	21	90	37	E	1.7	6	88
9月	16	7	7		31	17	91	35	E	1.7	7	118
10月	24	5	2		27	10	72	22	W	1.4	2	21
11月	10	14	6		24	5	96	29	W	1.6	6	97
12月	14	13	4		18	1	87	20	W	2.0	4	104
合計	198	105	62		37	-1	97	19	W	1.91	62	1,043

- ・天気日数、最高気温、湿度、最多風向、平均風速は17時の観測値
- ・最低気温は10時の観測値

5. 気象情報受理状況

平成27年1月1日～12月31日

種 別	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
注 意 報 関 係	大雨注意報							1	3	2			1	7	
	洪水注意報							1	3	2			1	7	
	強風注意報	5	4	2	4	2	1	3	1		1	2	1	26	
	波浪注意報	7	4	2	4	2	1	3	1		1	2	1	28	
	濃霧注意報			3	3		1	1						8	
	霧注意報					1								1	
	雷注意報	3	2	1	5	3	7	12	14	6	3	3	3	62	
	高潮注意報							1	1						2
	津波注意報														
	乾燥注意報	3	4	3	2	6					5		2	25	
	大雪注意報	1													1
	大雪電線着雪注意報														
	霜注意報			8											8
	風雪注意報	2													2
小計	21	14	19	19	13	10	22	23	10	10	7	9	177		
警 報 関 係	特別警報														
	大雨警報							1						1	
	洪水警報							1						1	
	強風警報														
	暴風警報							1						1	
	波浪警報							1						1	
	高潮警報							1						1	
	大雪警報														
津波警報															
小計							5							5	
気 象 情 報 関 係	大雨					2				1				3	
	小雨														
	強風	1		3	4	4				1	1		2	16	
	大雪	2												2	
	雪	1										1		2	
	雷				4	4				1	1		2	12	
	高波	1		3										4	
	低気圧														
	台風							1	1					2	
	強い冬型の気圧配置 梅雨の時期(四国地方)														
	地震		2			1		2		1	1		1	8	
	各地の震度		2					2					2	6	
	津波									1		1		2	
	その他の気象に関する情報					11		1	7	2	1		2	24	
小計	5	4	6	8	22		6	8	7	4	2	9	81		
火災気象通報	6	11	6		2					3		4	32		
合計	32	29	31	27	37	10	33	31	17	17	9	22	295		

火災統計

火 災 統 計

1. 火災発生状況

平成27年1月1日～12月31日

区 分		町 別		小 豆 島 町				合 計		
		土 庄 町		内 海 方 面		池 田 方 面		27年	26年	
		27年	26年	27年	26年	27年	26年			
全 火 災	件 数	4	10	4	9		3	8	22	
	損害額 千円	216	3,394	200	952		1,412	416	5,758	
火 災 種 別	建 物	件 数	4	9	2	4		1	6	14
		焼損床面積 m ²	12	315	2	78		165	14	558
		焼損表面積 m ²	13	8.04	0.3	0.01			13.3	8
		損害額 千円	216	3,379	200	387		1,325	416	5,091
	林 野	件 数				1				1
		焼損面積 a				100				100
		損害額 千円								
	車 両	件 数			1	2		1	1	3
		損害額 千円			0	465		87	0	552
	船 舶	件 数								
		損害額 千円								
	航 空 機	件 数								
		損害額 千円								
そ の 他	件 数		1	1	2		1	1	4	
	焼損面積 a			0	4		7	0	11	
	損害額 千円		15	0	100			0	115	
り 災 世 帯 数		1	4	1	1			2	5	
り 災 者 数 (人)		1	7	2	2			3	9	
死 者 (人)										
負 傷 者 (人)			1						1	
出火率(1万人あたり)(件)		2.7	7.0	※2.6	※7.9		※7.9	2.6	7.5	

※小豆島町の出火率は両方面合計したもの。

土 庄 町人口 14,732人

小豆島町人口 15,518人

(平成27年12月1日現在 住民基本台帳による。)

2. 時間別火災状況

区分 時間別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積						損害額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 a	そ の 他 a	船 舶	航 空 機	
								床面積 m ²	表面積 m ²					
0時～ 1時														
1 ～ 2														
2 ～ 3														
3 ～ 4														
4 ～ 5														
5 ～ 6														
6 ～ 7	1	1							0.3					6
7 ～ 8														
8 ～ 9														
9 ～10														
10～11	1	1						8						135
11～12	1			1										
12～13														
13～14	2	2						2	1					226
14～15														
15～16														
16～17														
17～18	1	1						4	12					32
18～19	1	1												17
19～20														
20～21														
21～22														
22～23														
23～24														
不 明	1						1							
合 計	8	6		1			1	14	13.3					416

3. 月・曜日別火災状況

月別 曜日別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計	損害額 (千円)
月						1							1	135
火				1									1	32
水			1			1							2	23
木														0
金														0
土				1						1	1		3	32
日											1		1	194
不 明														0
合 計			1	2		2				1	2		8	416

4. 月別火災状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物			1	2		2					1		6
林野													
車両											1		1
船舶													
航空機													
その他										1			1
合計			1	2		2				1	2		8

5. 覚知別火災状況

覚知別 署所別	119	加入電話	駆け付け	事後覚知	その他	計	損害額 (千円)
本署	3			1		4	216
内海分署			1	3		4	200
池田分署							
合計	3		1	4		8	416

6. 原因別火災状況

原因別 区分	火災 件数	災 種 別						焼 損 面 積				損 害 額 (千円)	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 _a	そ の 他 _a		
								床面積 m ²	表面積 m ²				
ガスコンロ	1	1							1				32
不明	1	1						4	12				32
子供の火遊び													
電灯・電話等の配線	1	1						2					194
電気装置													
取灰													
マッチ													
放火	1	1											17
放火の疑い													
その他	4	2		1		1		8	0.3				141
合計	8	6		1		1		14	13.3				416

7. 建物火災用途別火災状況（月別）

用途別	月別												計	床面積 m ²	表面積 m ²	損害額 (千円)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
住 宅			1	1									2	4	12.3	38
作 業 所												1	1	2		194
住宅・物置																
作業場住宅																
店 舗				1		1							2		1	49
共 同 住 宅																
その他の建築物																
納 屋																
診 療 所																
と り 小 屋																
倉 庫						1							1	8		135
合 計			1	2		2						1	6	14	13.3	416

8. 過去10ヶ年火災状況

年別	区分	火 災 件 数				損 害 額 (千円)			
		土庄町	小豆島町		計	土庄町	小豆島町		計
			内海方面	池田方面			内海方面	池田方面	
平成18年		12	3	0	15	6,564	92	0	6,656
平成19年		9	12	3	24	30,765	24,258	125	55,148
平成20年		6	8	1	15	3,182	816	30	4,028
平成21年		8	8	5	21	10,583	40,688	562	51,833
平成22年		3	5	4	12	2,379	4,002	683	7,064
平成23年		7	5	7	19	3,755	2,219	31,655	37,629
平成24年		5	3	5	13	5,064	7,477	591	13,132
平成25年		2	6	3	11	0	9,870	5,285	15,155
平成26年		10	9	3	22	3,394	952	1,412	5,758
平成27年		4	4	0	8	216	200	0	416
10年間平均		7	6	3	16	6,590	9,057	4,034	19,682

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの。

救急統計



救 急 統 計

1. 事故別、救急出場状況

事 故 別	月 別												合 計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
出 場 件 数	123	106	103	88	113	85	131	122	87	115	103	114	1,290	
搬 送 人 員	112	91	98	83	102	80	123	114	79	107	95	100	1,184	
火 災	出場件数													
	搬送人員													
自然災害	出場件数													
	搬送人員													
水 難	出場件数	1	1			1		1			1		5	
	搬送人員	1	1			1		1					4	
交 通	出場件数	6	5	8	8	11	9	13	10	10	14	9	3	106
	搬送人員	9	5	12	8	11	8	11	11	9	12	9	3	108
労働災害	出場件数	1		2	1	1	1	2	3		1		1	13
	搬送人員	1		2	1	1	1	2	3				1	12
運動競技	出場件数					4					1		2	7
	搬送人員					4					1		1	6
一般負傷	出場件数	22	15	8	16	17	13	20	13	14	18	13	22	191
	搬送人員	18	11	8	16	16	11	20	12	11	18	12	19	172
加 害	出場件数				1	1					1	1		4
	搬送人員					2					1	1		4
自損行為	出場件数	1	2	1	2		1	4						11
	搬送人員	1	1	1	2		1	3						9
急 病	出場件数	79	65	62	42	55	43	73	81	49	58	61	62	730
	搬送人員	69	55	53	39	44	41	68	74	45	53	55	52	648
そ の 他	出場件数	13	18	22	18	23	18	18	15	14	22	18	24	223
	搬送人員	13	18	22	17	23	18	18	14	14	22	18	24	221

2. 覚知別救急出場状況

覚 知 別	119番	一般加入	警察電話	駆け付け	そ の 他	計
救 急 件 数	963	312	2	9	4	1,290

3. 医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照会回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目以上	計
搬送人員	1,148	31	2	3	0	0	1,184

4. 時間別出場状況

時間別 事故別	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	計
	急病	29	34	32	64	85	91	97	61	56	67	65	49
交通事故	1	1	2	7	18	19	15	12	16	6	8	1	106
一般負傷	7	4	6	20	25	22	20	22	22	15	17	11	191
転院搬送	4	1	1	3	27	40	43	36	29	23	7	6	220
その他	0	0	2	0	6	15	2	7	4	2	3	2	43
合計	41	41	42	94	161	187	177	138	127	113	100	69	1,290

5. 曜日別救急出場件数

曜日別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
救急件数	187	187	178	211	179	175	173	1,290

6. 救急隊員の行った応急処置件数

処置別 事故別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
	応急処置対象人員	647	106	172	252
止血	2	3	9	4	18
固定	24	93	113	31	261
人工呼吸	1			1	2
心マッサージ					0
心肺蘇生	33	2	7	1	43
酸素吸入	210	19	28	95	352
気道確保	49	3	8	8	68
保温	161	15	42	73	291
被覆	1	33	49	9	92
在宅療法継続	16		2	2	20
ショックパンツによる血圧保持					0
除細動	1				1
静脈路確保	9		3		12
その他の応急処置	17		1	10	28
血圧測定	615	101	163	234	1,113
心音・呼吸音等の聴取	357	66	57	34	514
血中酸素飽和度の測定	619	105	163	246	1,133
心電図	551	50	84	149	834

7. 現場到着所要時間別出場状況

事故別	時間	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平均所要時間 (分)
急病		11	111	396	177	35	730	8.3
交通		8	31	36	29	2	106	7.6
一般負傷		2	30	86	61	12	191	9.1
その他		9	103	124	21	6	263	6.0
合計		30	275	642	288	55	1,290	

8. 収容所要時間別搬送人員

事故別	所要時間	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計	
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
急病				44		212		354		38				648	
交通				5		44		56		3				108	
一般負傷				7		56		100		8		1		172	
その他				21		86	1	65		76	73	8	8	256	82
合計				77		398	1	575		125	73	9	8	1,184	82

9. 年齢区分別搬送人員

事故別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児											5	5
乳幼児			1	3			4			12	12	32
少年				7		2	3			11	1	24
成年				55	9	3	27	2	7	147	57	307
高齢者			3	43	3	1	138	2	2	478	146	816
合計			4	108	12	6	172	4	9	648	221	1,184

10. 発生場所別搬送人員

事故別	場所別						合計
	住宅	公衆場所	仕事場	道路	その他		
急病	493	110	22	15	8	648	
交通		9		95	4	108	
一般負傷	94	36	3	15	24	172	
その他	10	225	7	5	9	256	
合計	597	380	32	130	45	1,184	

11. 管轄外転院搬送件数

年別	搬送種別						合計
	巡視艇	高松市消防局 救急艇	ヘリコプター	フェリー	海上タクシー (高速艇等)	その他	
平成20年	3	—	18	109	16(2)	—	146
平成21年	0	—	38	98	17(3)	—	153
平成22年	1	—	46	112	18(0)	—	177
平成23年	3	19	47	104	8(3)	—	181
平成24年	—	33	33	97	2(1)	—	165
平成25年	1	19	48	85	1(0)	—	154
平成26年	3	31	56	86	0(1)	1	178
平成27年	—	24	92	82	—	1	199

12. 傷病程度別搬送人員

傷病程度	事故別											合計
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
死亡				2			5		1	26		34
重症			1	13	2		23	1	1	96	17	154
中等症			2	25	3	1	78	1	4	266	83	463
軽症			1	68	7	5	66	2	3	260	9	421
その他											112	112
合計			4	108	12	6	172	4	9	648	221	1,184

13. 小豆2町、年別救急出場状況

町別		年別	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	10年間平均
土庄町	出場件数		704	594	620	577	688	599	651	649	588	607	628
	搬送人員		658	551	585	528	629	552	581	594	538	558	577
小豆島町	内海方面	出場件数	441	458	428	450	541	511	488	516	464	517	481
		搬送人員	434	455	408	433	528	482	449	472	412	466	454
	池田方面	出場件数	149	169	167	188	177	200	198	184	168	166	177
		搬送人員	142	160	158	178	166	189	187	169	152	160	166
郡外	出場件数		2	2	1	1	1	1	1				1
	搬送人員		2	2	1	1	1	1	1				1
合計	出場件数		1,296	1,223	1,216	1,216	1,407	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,287
	搬送人員		1,236	1,168	1,152	1,140	1,324	1,224	1,218	1,235	1,102	1,184	1,198

14. 過去10ヶ年の主な救急出場状況

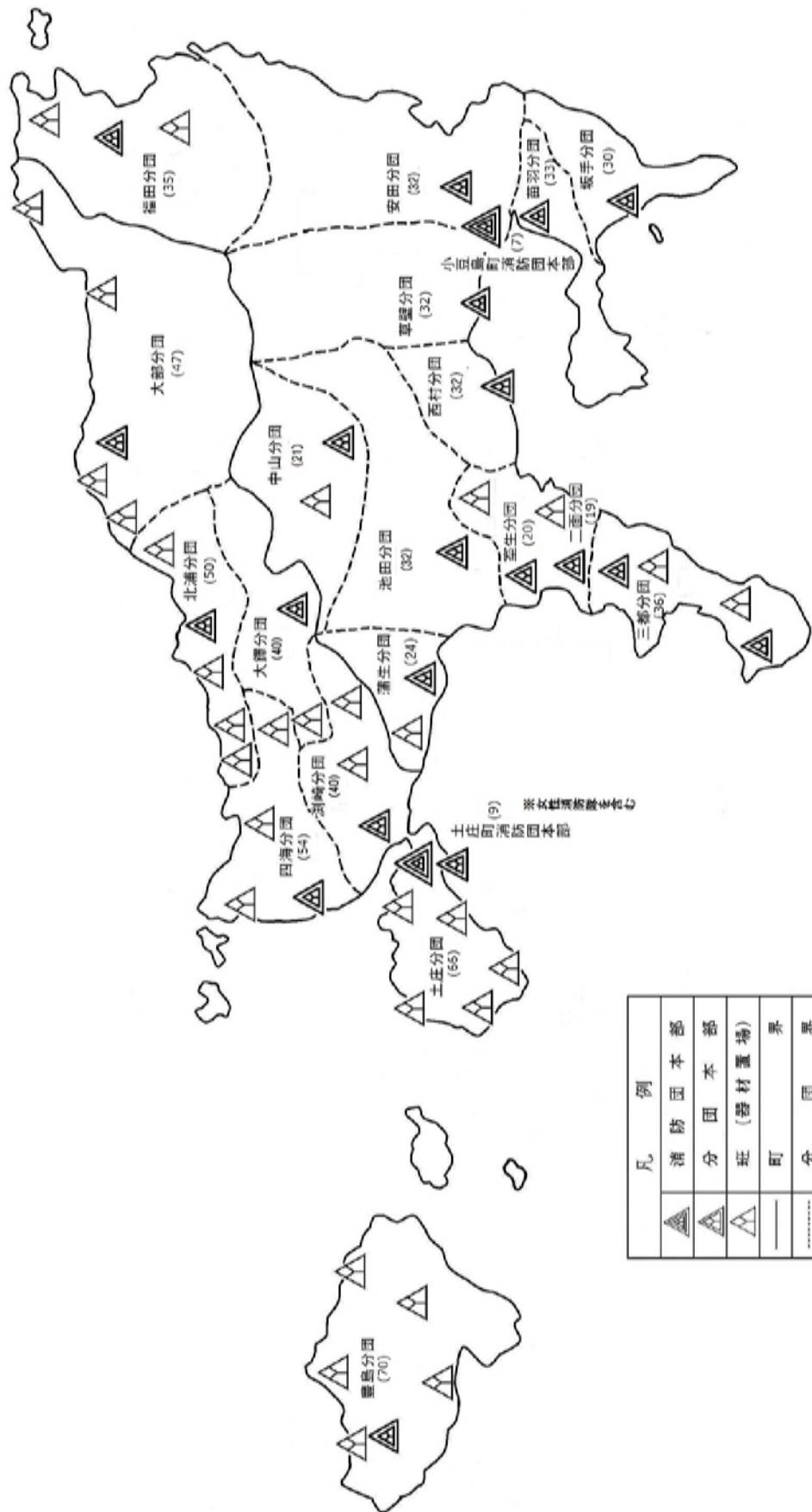
町別		年別	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	10年間平均
急病			724	703	671	688	782	778	767	799	700	730	734
交通			91	85	107	95	114	89	99	81	84	106	95
一般負傷			194	191	180	181	237	189	223	215	198	191	200
その他			287	244	258	252	274	255	249	254	238	263	257
合計			1,296	1,223	1,216	1,216	1,407	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,287

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの。

消 防 団

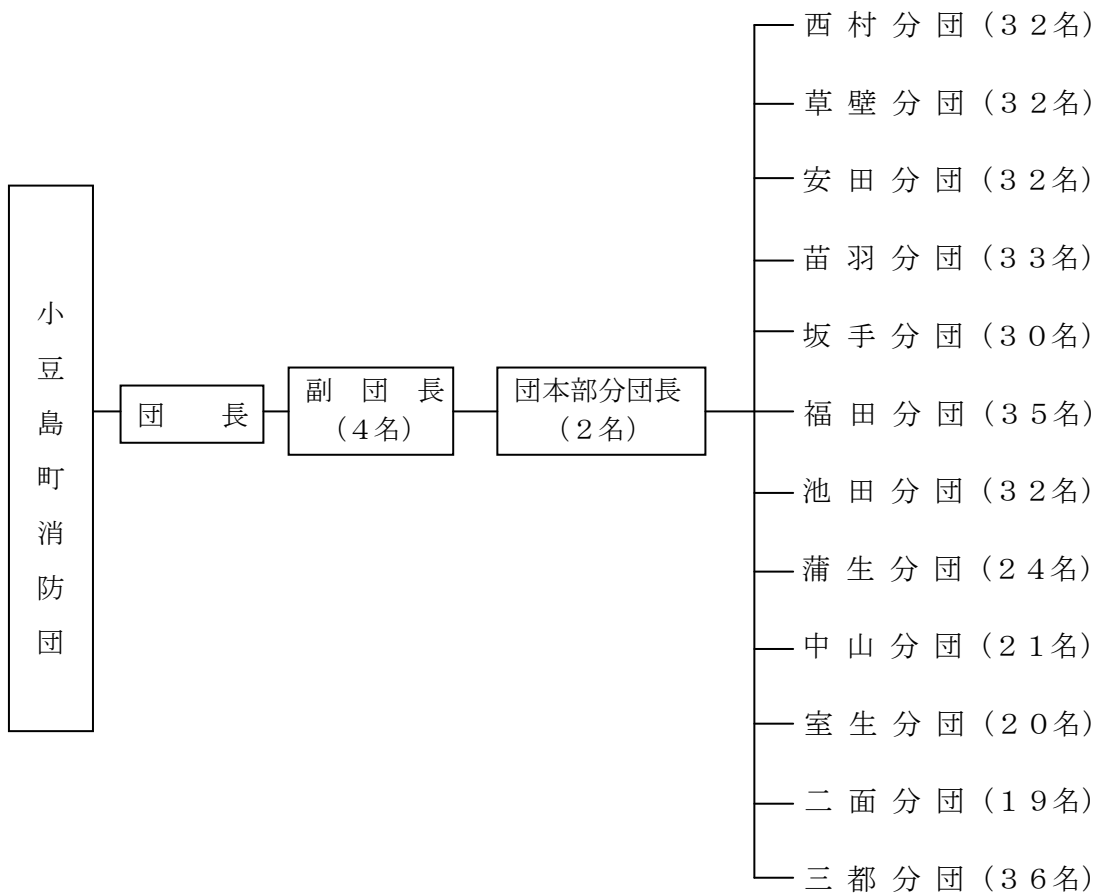
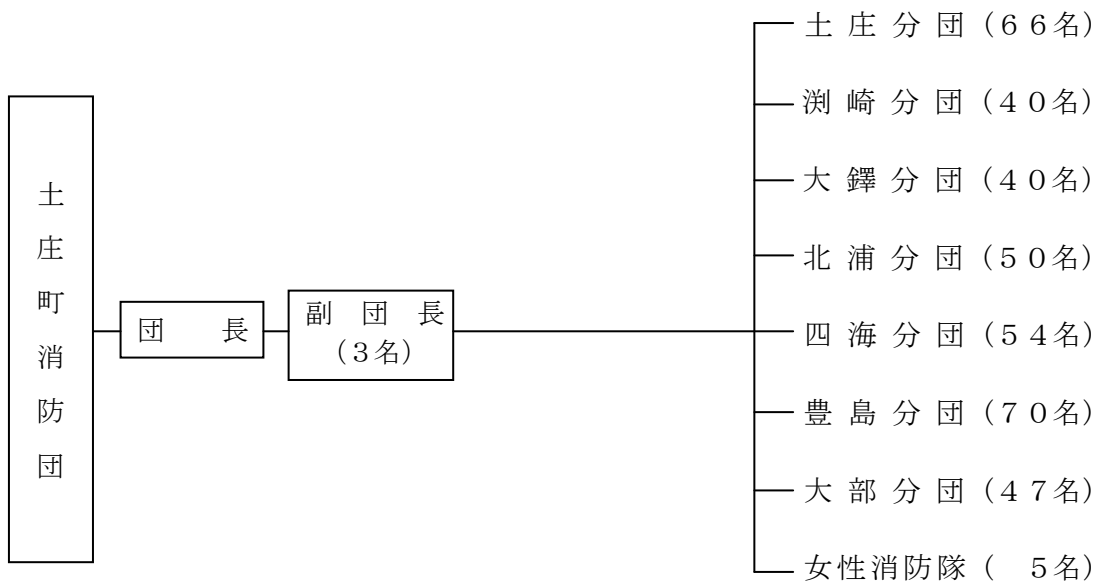


1.2 町消防団現勢分布図



2. 消防団の組織、機構

平成 28 年 4 月 1 日現在



3. 消防団員の勤務年数及び年齢

(勤務年数)

平成28年4月1日現在

年齢別 \ 団別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
1年未満	24	15	39
1年～5年	97	49	146
5年～10年	75	63	138
10年～15年	74	66	140
15年～20年	61	67	128
20年～25年	23	40	63
25年～30年	13	22	35
30年～35年	4	23	27
35年以上	5	8	13
合計	376	353	729
平均勤続年数	10.5	14.1	12.3

(年齢)

平成28年4月1日現在

年齢別 \ 団別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
18才～20才	0	0	0
21才～25才	11	15	26
26才～30才	36	28	64
31才～35才	67	65	132
36才～40才	100	70	170
41才～45才	83	59	142
46才～50才	31	51	82
51才～55才	23	43	66
56才～60才	11	18	29
60才以上	14	4	18
合計	376	353	729
平均年齢	40.5	41.0	40.8

4. 消防団員数及び装備状況

(団員数)

平成28年4月1日現在

階級別 \ 団別	階級別							合計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
土庄町消防団	1	3	7	7	14	48	296	376
小豆島町消防団	1	4	14	13	13	56	252	353
合計	2	7	21	20	27	104	550	729

(装備状況)

平成28年4月1日現在

種別	ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ	無線機
土庄町消防団	7	29	33	29
小豆島町消防団	3	22	19	57
合計	10	51	52	86

5. 町別消防車両等種別現況

平成28年4月1日現在

	種別	年式	車名	ポンプ型式	馬力数	購入年月日	
土庄町消防団	土庄分団ポンプ車	A-2	日野	二段バランスタービン	150	25. 9. 3	
	湊崎分団 "	"	H5	"	130	5. 9. 30	
	大鐸分団 "	"	H15	イズズ	"	15. 2. 25	
	北浦分団 "	"	H7	三菱	"	7. 8. 25	
	四海分団 "	"	H9	"	"	9. 9. 2	
	豊島分団 "	"	H12	"	"	12. 9. 25	
	大部分団 "	"	H27	日野	"	27. 2. 19	
	団本部連絡車		H6	スズキ		28	6. 5. 23
	指揮広報車		H28	トヨタ		110	28. 3. 14
	団本部積載車		H7	日産		98	7. 12. 26
	土庄分団積載車		H3	スズキ		30	3. 6. 25
	"		H28	三菱		50	28. 3. 8
	"		H元	"		"	元. 11. 29
	"		H25	三菱		50	25. 12. 3
	"		S62	ダイハツ		"	62. 5. 27
	湊崎分団積載車		H24	三菱		-	24. 10. 12
	大鐸分団積載車		H10	三菱		30	10. 4. 16
	"		H13	"		"	13. 11. 5
	"		H18	ダイハツ		33	18. 2. 9
	北浦分団積載車		H4	ホンダ		38	4. 4. 28
	"		H3	"		"	3. 11. 7
	"		"	"		"	"
	"		H8	三菱		30	8. 11. 11
	四海分団積載車		H4	ホンダ		38	4. 2. 27
	"		"	"		"	4. 4. 28
	"		H9	"		"	9. 3. 12
	豊島分団積載車		H2	三菱		30	2. 11. 8
	"		H25	ダイハツ		53	25. 10. 22
	"		S63	"		"	63. 7. 1
	"		H22	ダイハツ		49	22. 11. 16
"		H18	三菱		35	18. 2. 9	
"		H18	ホンダ		46	18. 7. 18	
大部分団積載車		H6	三菱		30	6. 6. 17	
"		"	"		"	"	
"		S63	"		"	63. 11. 21	
"		H6	三菱		26	6. 6. 17	
"		"	三菱		28	"	

小豆島町消防団	福田分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	27.	2.	19
	坂手分団	〃	〃	H27	日野	〃	〃	27.	3.	23
	団本部	積載車		H8	トヨタ		105	8.	10.	23
	西村分団	積載車		H19	三菱		110	19.	3.	19
	〃	軽四積載車		S62	スズキ		28	62.	11.	27
	草壁分団	積載車		H19	日産		98	19.	2.	19
	〃			H4	トヨタ		105	4.	8.	28
	安田分団	積載車		H12	三菱		105	12.	8.	29
	〃	軽四積載車		H7	スズキ		42	7.	7.	24
	苗羽分団	積載車		H22	イスズ		110	22.	3.	26
	〃	積載車(人搬)		H9	日産		98	9.	9.	18
	坂手分団	軽四積載車		H8	スズキ		〃	8.	9.	27
	福田分団	軽四積載車		〃	〃		〃	8.	3.	18
	〃			H12	〃		49	12.	11.	9
	〃			〃	〃		〃	12.	11.	10
	池田分団	ポンプ車	A-2	H7	三菱	二段バランスタービン	110	7.	10.	12
	団本部	積載車		H6	日産		91	6.	1.	28
	団本部	軽四積載車		H13	スバル		34	13.	4.	1
	蒲生分団	積載車		〃	三菱		94	13.	9.	4
	中山分団	積載車		H12	〃		〃	12.	2.	28
	室生分団	積載車		H15	〃		〃	15.	9.	3
	二面分団	積載車		H10	トヨタ		91	10.	3.	10
	三都分団	積載車		H14	三菱		94	14.	8.	20
	〃			H11	〃		〃	11.	3.	17

6. 消防団員報酬調

平成28年4月1日現在

階級 団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
土庄町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000
小豆島町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000

7. 消防団員諸手当調

平成28年4月1日現在

区分 団別	水・火災出動 (1回あたり)	警戒出動 (1回あたり)	訓練出動 (1回あたり)
土庄町消防団	2,000	2,000	2,000
小豆島町消防団	2,000	2,000	2,000